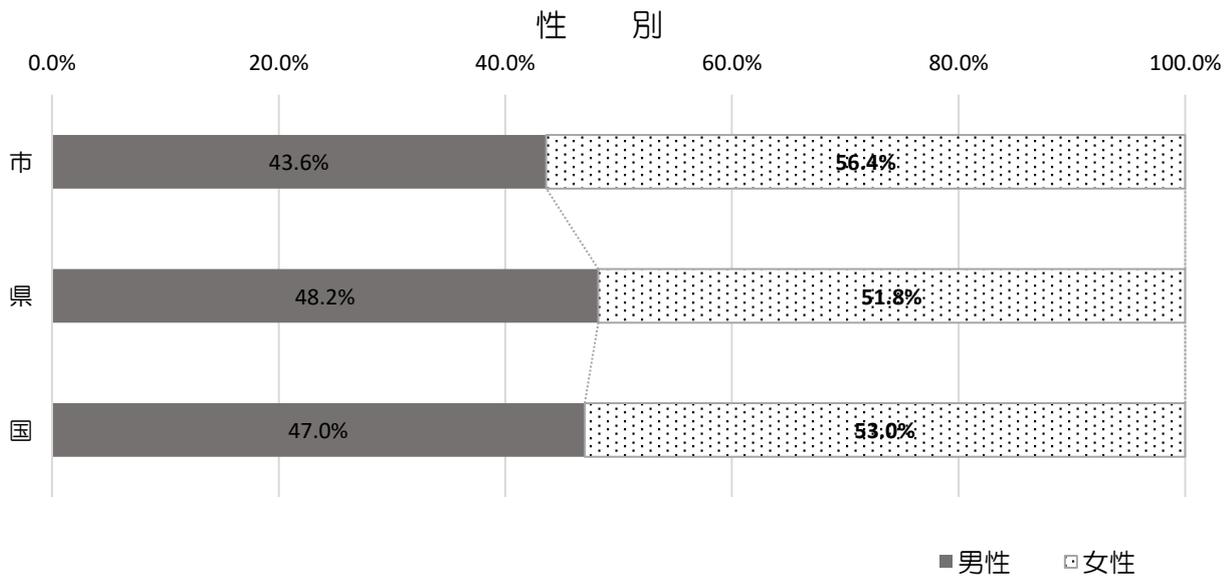


回答者の属性

1. 性別

	回答数	割合	県	国
男性	304	43.6%	48.2%	47.0%
女性	393	56.4%	51.8%	53.0%
合計	697			



回答者の性別は、市、県、国ともに女性が男性よりも多い結果となっていますが、本市の女性回答者の割合は、県、国よりも多くなっています。

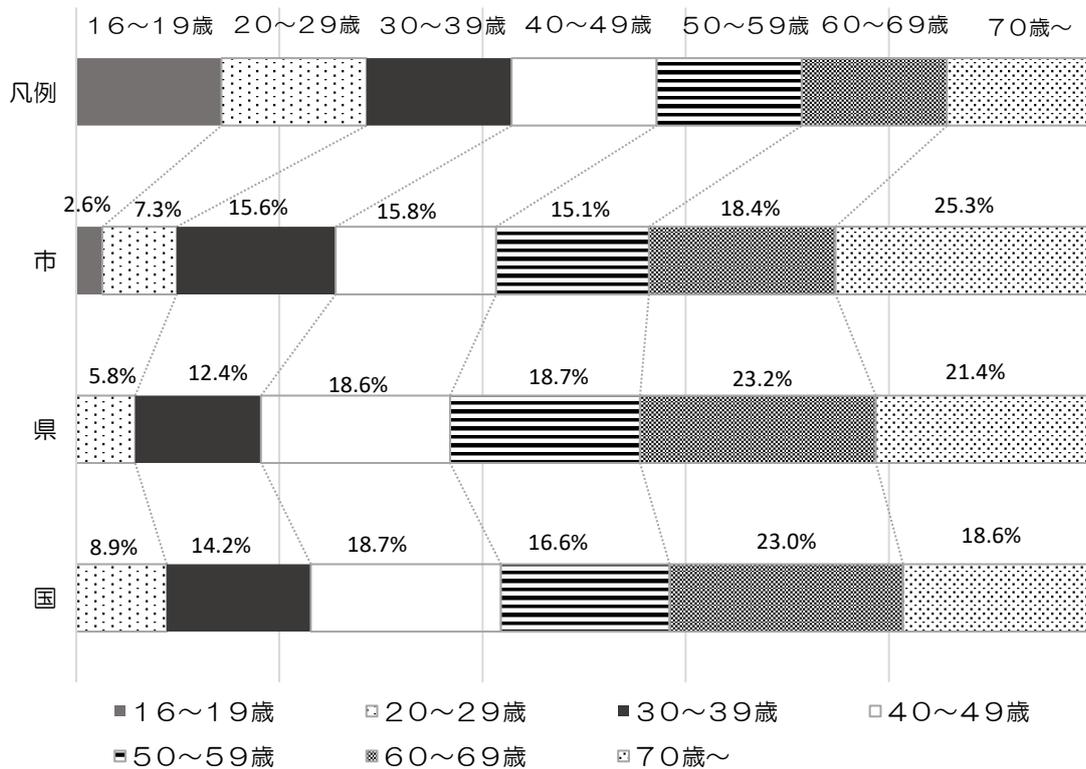
2. 年齢

	本市		県	国
	回答数	割合		
16～19歳	18	2.6%		
20～29歳	51	7.3%	5.8%	8.9%
30～39歳	109	15.6%	12.4%	14.2%
40～49歳	110	15.8%	18.6%	18.7%
50～59歳	105	15.1%	18.7%	16.6%
60～69歳	128	18.4%	23.2%	23.0%
70歳～	176	25.3%	21.4%	18.6%
合計	697			

※本調査では、16歳以上を対象としています。

※県、国調査は、20代以上を対象としているため、10代の欄を空欄にしています。

回答者の年代



市、県、国ともに年代が上がるにつれて回答割合が高くなる傾向があります。

県、国では、60代が最も多いことに対し、本市では、70歳以上が25.3%と最も多くなっています。

問1 あなたが健康の維持・増進のために、心掛けていることは何ですか

(回答は3つまで)

	本市		県
	回答数	割合	
①食生活に気を付ける	501	71.9%	69.5%
②睡眠や休養をよくとる	411	59.0%	47.8%
③運動（体操や散歩を含む）やスポーツをする	268	38.5%	41.7%
④日常生活でできるだけ身体活動の機会を増やす（車を利用せず歩くなど）	296	42.5%	32.0%
⑤規則正しい生活をする	227	32.6%	29.0%
⑥酒、たばこなどを控える	97	13.9%	9.6%
⑦その他	12	1.7%	31.6%
⑧特にない	40	5.7%	2.7%
⑨無回答	0	0.0%	0.4%
合 計	1,852		

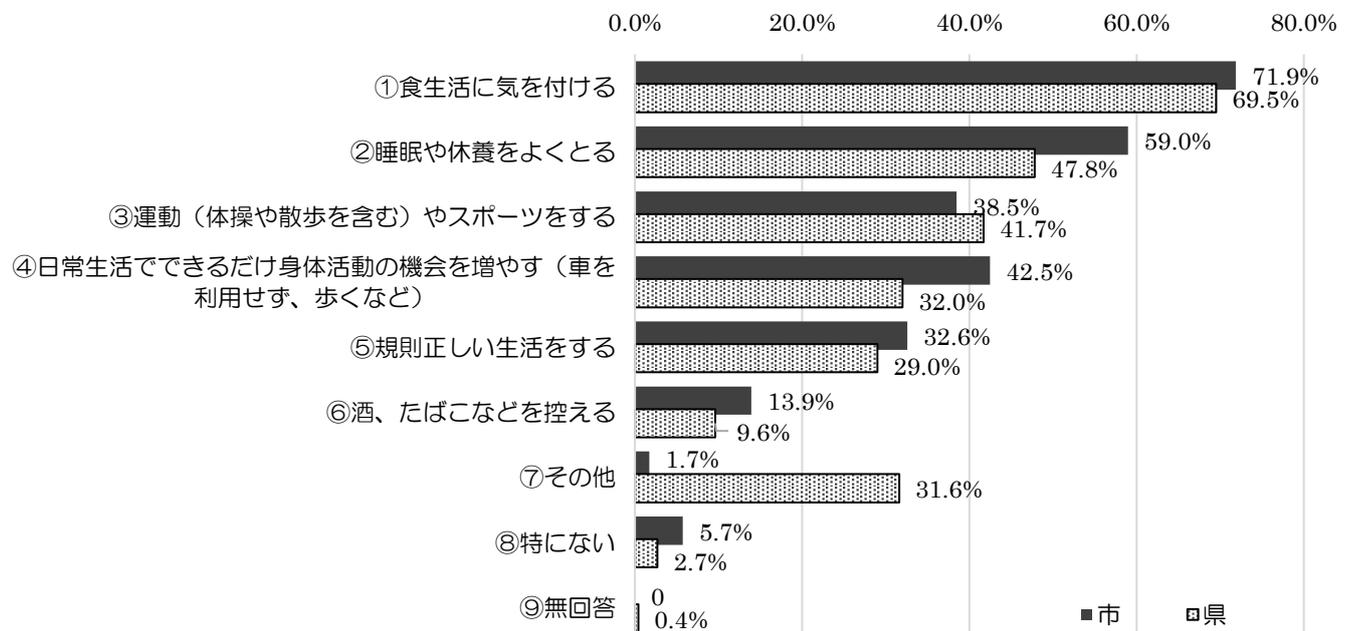
※本市における回答割合は全回答者数（697人）に占める各選択肢の割合を示しています。

※国調査では、同様の設問がないため、市、県調査の結果のみ記載しています。

※⑦「その他」：県調査における上記以外の選択肢を回答した割合は、すべて「その他」に合算しています。

※県調査では、「わからない」の選択肢が設定されており、上記表では、「わからない」の回答割合を「⑨無回答」に記載しています。

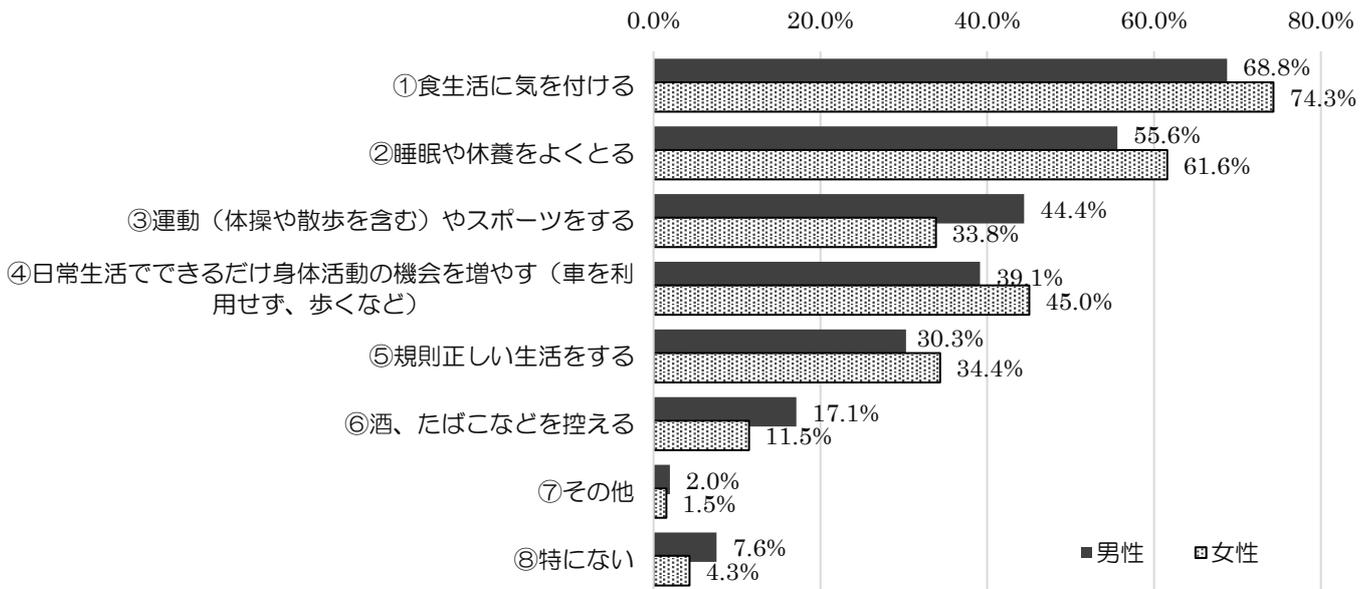
問1 全体の集計



【全体の集計結果】

「③運動（体操や散歩を含む）やスポーツをする」を選択した割合の高さは4番目に位置し、「④日常生活でできるだけ身体活動の機会を増やす」等よりも低いことから、今後もスポーツの重要性について周知を継続する必要があると考えられます。

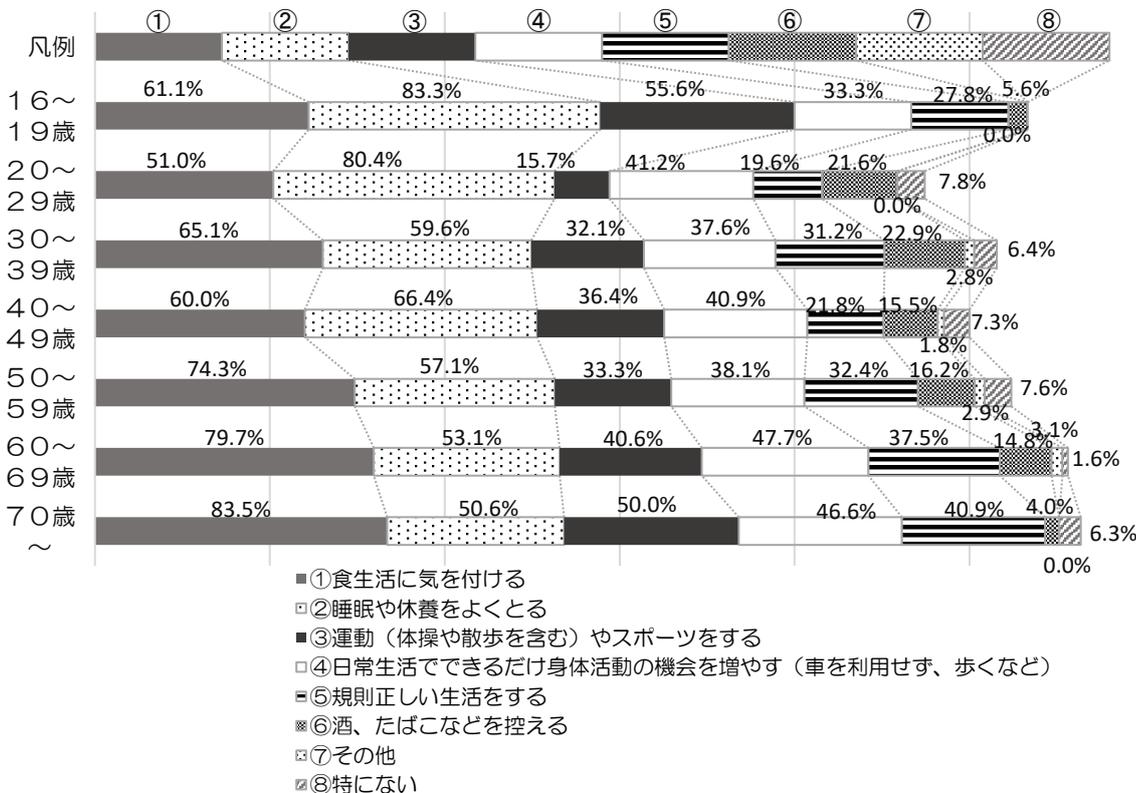
問1 性別の集計



【性別の集計結果】

男性は「③運動やスポーツをする」が44.4%で女性よりも10%以上高い反面、「④日常生活でできるだけ身体活動の機会を増やす」が39.1%と女性よりも6%近く低くなっています。

問1 年代別の集計



【年代別の集計結果】

「③運動（体操や散歩を含む）やスポーツをする」は、16～19歳に次いで70歳以上の年代が高くなっています。また、この割合は、20代が15.7%と最も低い割合を示しています。

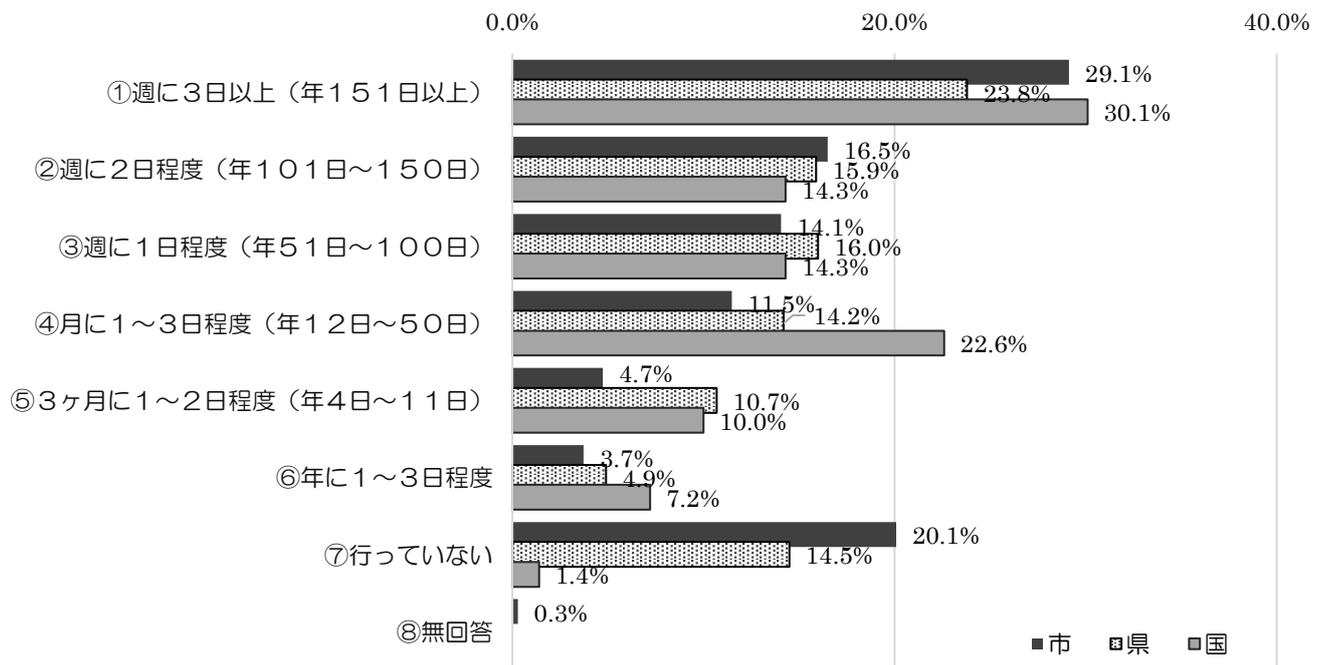
問2 この1年間で、あなたが30分以上運動やスポーツ（体操、ウォーキング等の軽度の身体活動を含みます）をした日数を合わせると何日ですか（回答は1つ）

	本市		県	国
	回答数	割合		
①週に3日以上（年151日以上）	203	29.1%	23.8%	30.1%
②週に2日程度（年101日～150日）	115	16.5%	15.9%	28.6%
③週に1日程度（年51日～100日）	98	14.1%	16.0%	
④月に1～3日程度（年12日～50日）	80	11.5%	14.2%	22.6%
⑤3ヶ月に1～2日程度（年4日～11日）	33	4.7%	10.7%	10.0%
⑥年に1～3日程度	26	3.7%	4.9%	7.2%
⑦行っていない	140	20.1%	14.5%	1.4%
⑧無回答	2	0.3%		
合計	697			

※選択肢②、③について：国調査では「週に1～2日（年51日～150日）」として選択肢を設定しており、28.6%が回答しています。

※県、国調査では、選択肢⑦「行っていない」に代わり、「わからない」が設定されています。上記表では、「わからない」の回答割合を「⑦行っていない」に記載しています。

問2 全体の集計

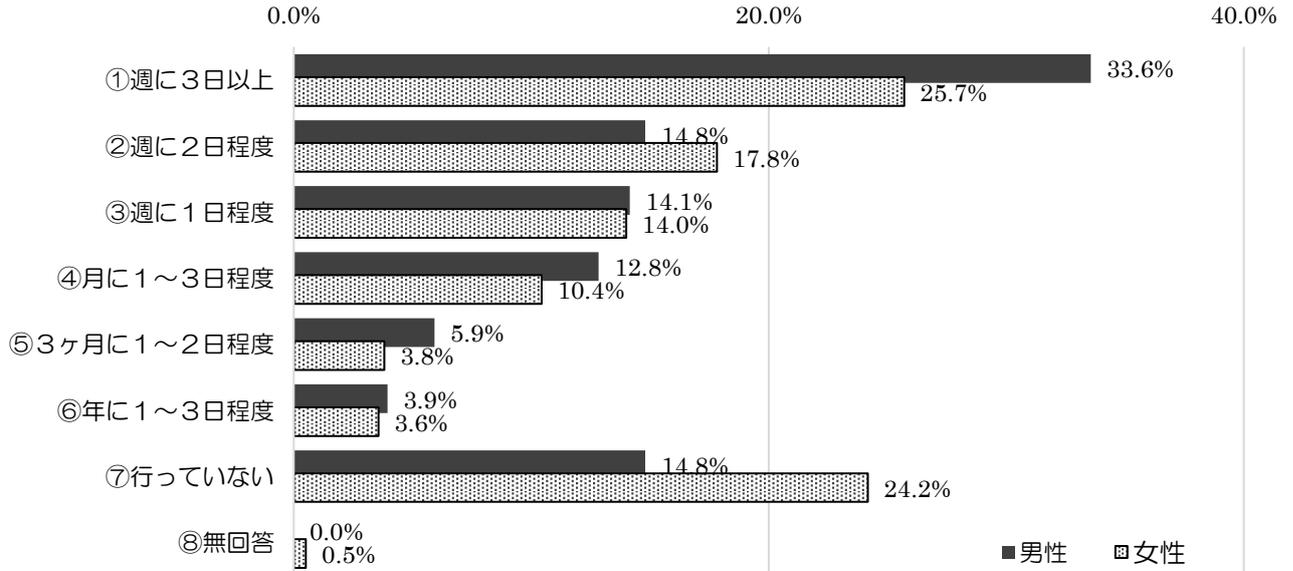


※選択肢②、③の国数値について：上記グラフでは、「週に1～2日（年51日～150日）」と回答した28.6%を按分してそれぞれ14.3%で作成しています。

【全体の集計結果】

「週に1日以上スポーツを行う割合（①～③）」は、59.7%を占める一方、「⑦行っていない」割合は20.1%と高く、スポーツを行わない人を対象とした取り組みが必要と考えられます。

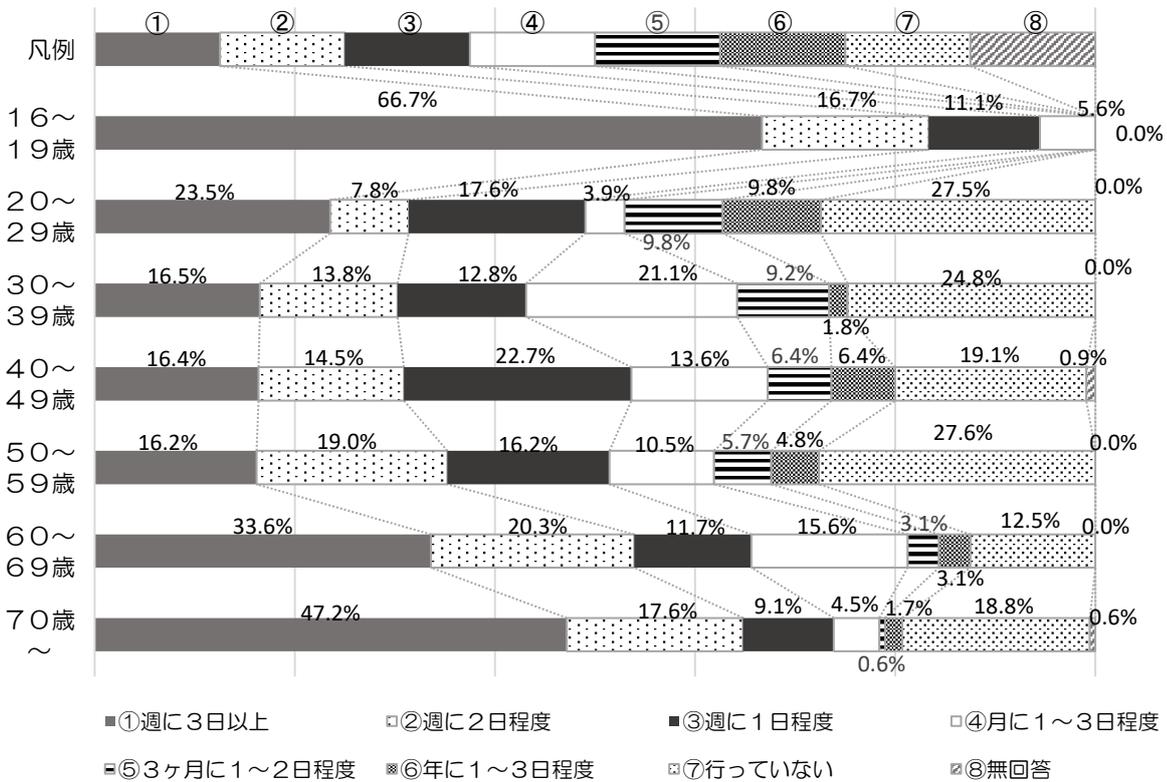
問2 性別の集計



【性別の集計結果】

女性は「①週に3日以上」の割合が25.7%と男性よりも低く、「⑦行っていない」割合が24.2%と男性よりも10%近く高くなっており、全体的な傾向として女性の方がスポーツをする日数が少ないことがうかがえます。

問2 年代別の集計



【年代別の集計結果】

「①週に3日以上」は、16歳～19歳に次いで70歳以上が高い割合を示しています。また、20代～50代で「⑦行っていない」割合が高く、この世代へのスポーツの普及が課題といえます。

問3 【問2で、⑦の回答をした方におたずねします】

この1年間で、あなたが運動やスポーツをしなかった理由は何ですか（回答は3つまで）

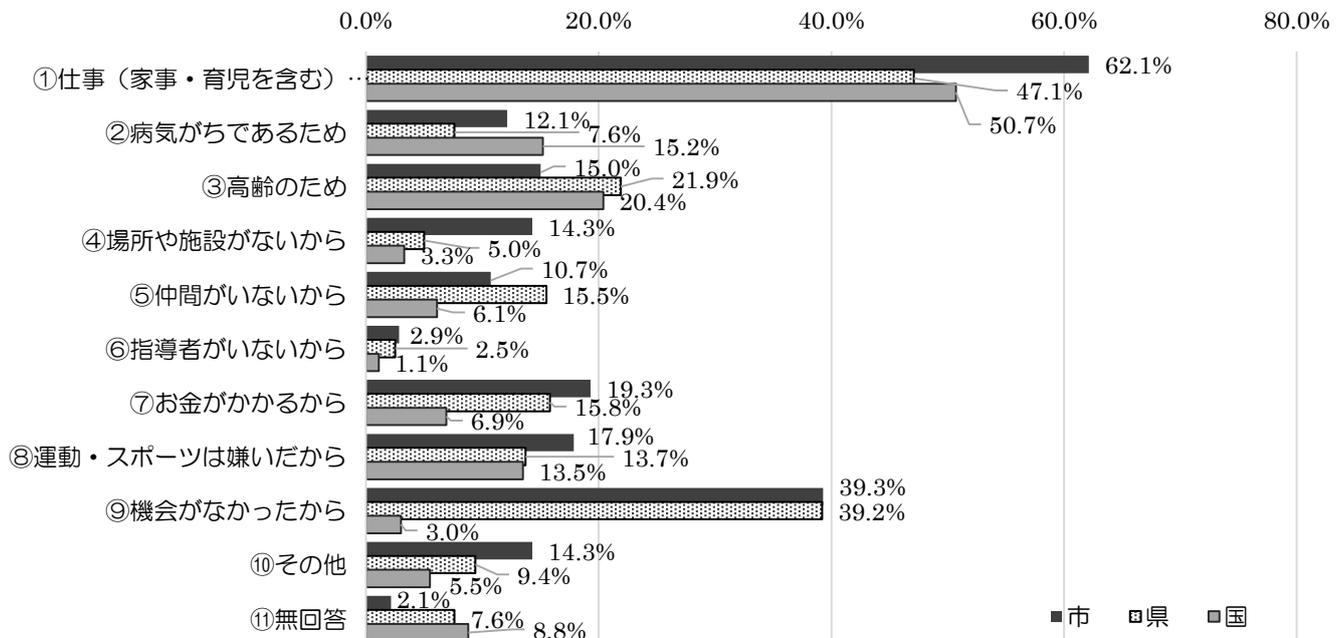
	本市		県	国
	回答数	割合		
①仕事（家事・育児を含む）が忙しくて時間がないから	87	62.1%	47.1%	50.7%
②病気がちであるため	17	12.1%	7.6%	15.2%
③高齢のため	21	15.0%	21.9%	20.4%
④場所や施設がないから	20	14.3%	5.0%	3.3%
⑤仲間がないから	15	10.7%	15.5%	6.1%
⑥指導者がいないから	4	2.9%	2.5%	1.1%
⑦お金がかかるから	27	19.3%	15.8%	6.9%
⑧運動・スポーツは嫌いだから	25	17.9%	13.7%	13.5%
⑨機会がなかったから	55	39.3%	39.2%	3.0%
⑩その他	20	14.3%	16.2%	5.5%
⑪無回答	3	2.1%	7.6%	8.8%
合計	294			

※本市における回答割合は、問2の質問に対して「1年間で、あなたが30分以上運動やスポーツを行っていない」と回答した140人に占める各選択肢の割合を示しています。

※⑩「その他」について：県調査における上記以外の選択肢を回答した割合はすべて「その他」に合算しています。

※⑪「無回答」について：県調査、国調査では「わからない」の選択肢が設定されており、県調査で7.6%、国調査で0.3%の回答者が「わからない」を選択しています。上記表では、それらを「⑪無回答」に含めています。

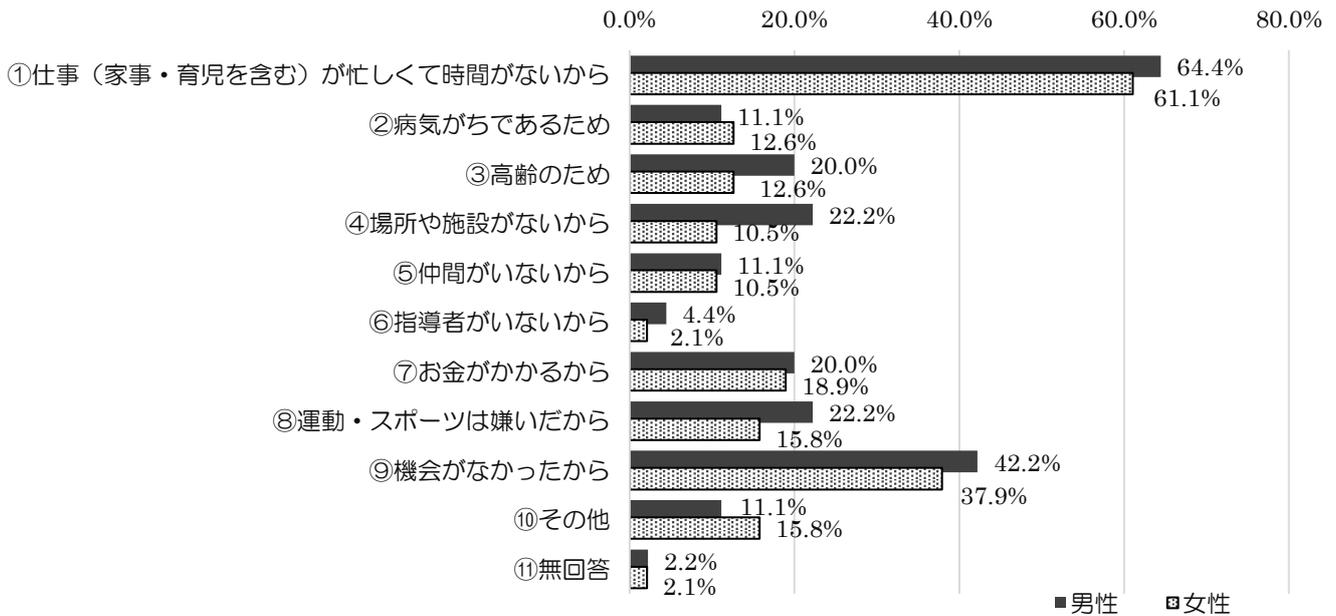
問3 全体の集計



【全体の集計結果】

本市においては、62.1%が「①仕事（家事・育児を含む）が忙しくて時間がないから」、39.3%が「⑨機会がなかったから」と回答しており、生活に合わせてスポーツに親しめる環境づくりが重要と考えられます。

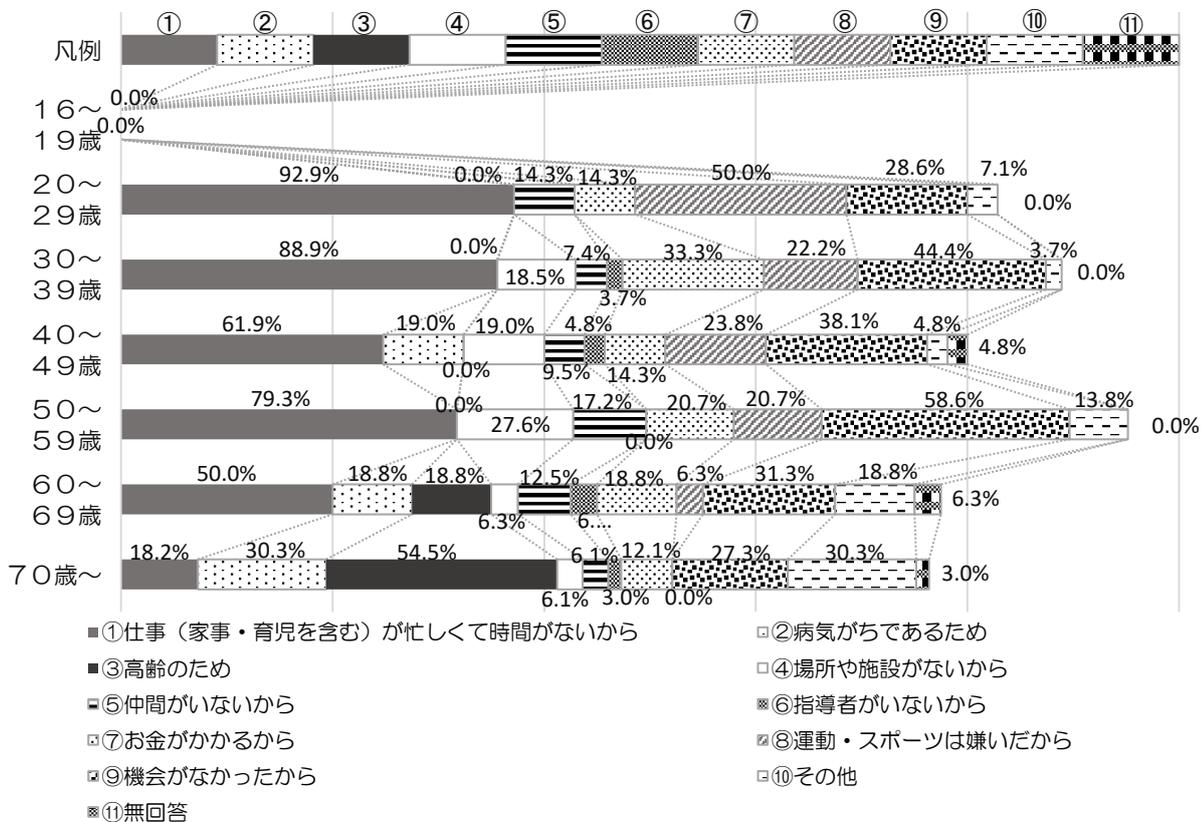
問3 性別の集計



【性別の集計結果】

男性の理由として「③高齢のため」、「④場所や施設がないから」の割合は女性を高く上回っています。また、「⑧運動・スポーツは嫌い」は男性が22.2%と女性よりも高い割合を示しています。

問3 年代別の集計



【年代別の集計結果】

20代において、「①忙しくて時間がないから」が92.9%、「⑧運動・スポーツは嫌い」が50.0%と他の年代よりも高い割合を示しており、若い世代のスポーツ離れが課題と言えます。

問4 【問2で、①～⑥の回答をした方におたずねします】

この1年間で、あなたが運動やスポーツをした理由は何ですか（回答は3つまで）

	本市		県	国
	回答数	割合		
①健康・体力づくりのため	359	64.7%	52.0%	56.4%
②楽しみ、気晴らしとして	292	52.6%	47.2%	49.0%
③運動不足を感じるから	298	53.7%	48.0%	43.8%
④自己の記録や能力を向上させるため	62	11.2%	3.8%	4.4%
⑤家族のふれあいとして	56	10.1%	10.7%	15.0%
⑥友人・仲間との交流として	141	25.4%	27.6%	32.3%
⑦美容のためとして	43	7.7%	11.8%	14.9%
⑧特定検診による医師からの助言に基づいて	36	6.5%		
⑨その他	33	5.9%	5.8%	6.1%
⑩無回答	24	4.3%	1.0%	1.2%
合 計	1,344			

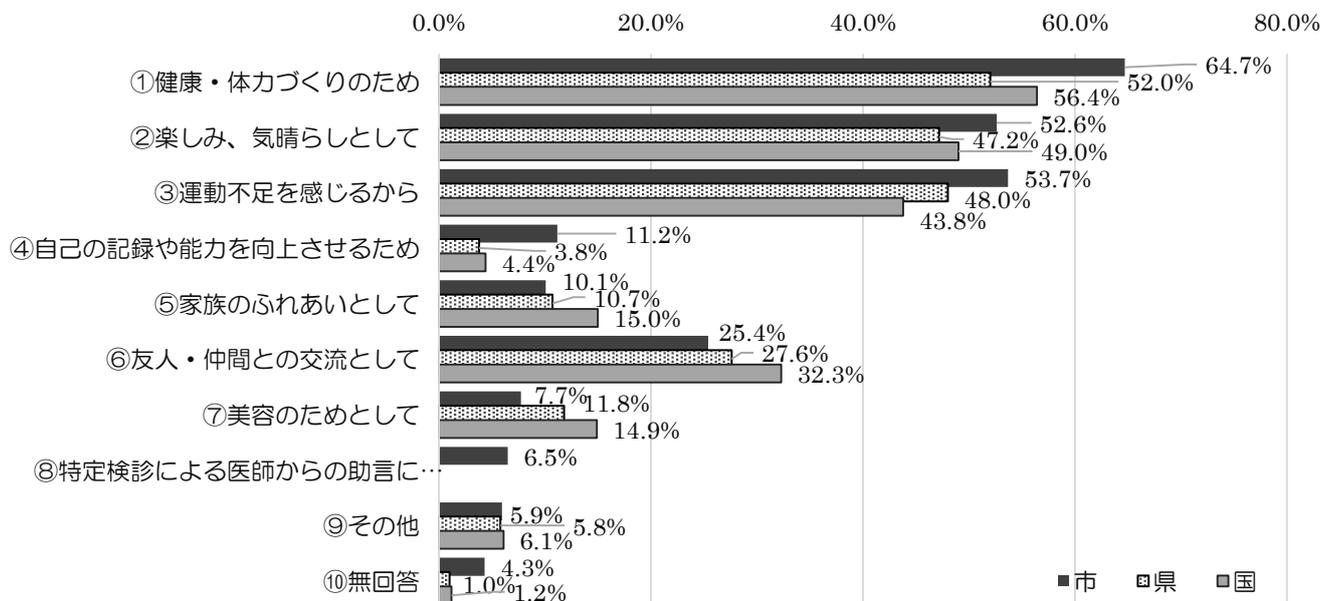
※本市における回答割合は、問2の質問に対して①から⑥（スポーツを行っている）と回答した555人に占める各選択肢の割合を示しています。

※⑧「特定検診による～」にいて：県、国調査においては、同様の選択肢がないため空欄にしています。

※⑨「その他」について：県調査、国調査における上記以外の選択肢を回答した割合は、すべて「その他」に合算しています。

※⑩「無回答」について：県調査、国調査では「わからない」の選択肢が設定されており、県調査で1.0%、国調査で1.2%の回答者が「わからない」を選択しています。上記表ではそれらを⑩「無回答」に記載しています。

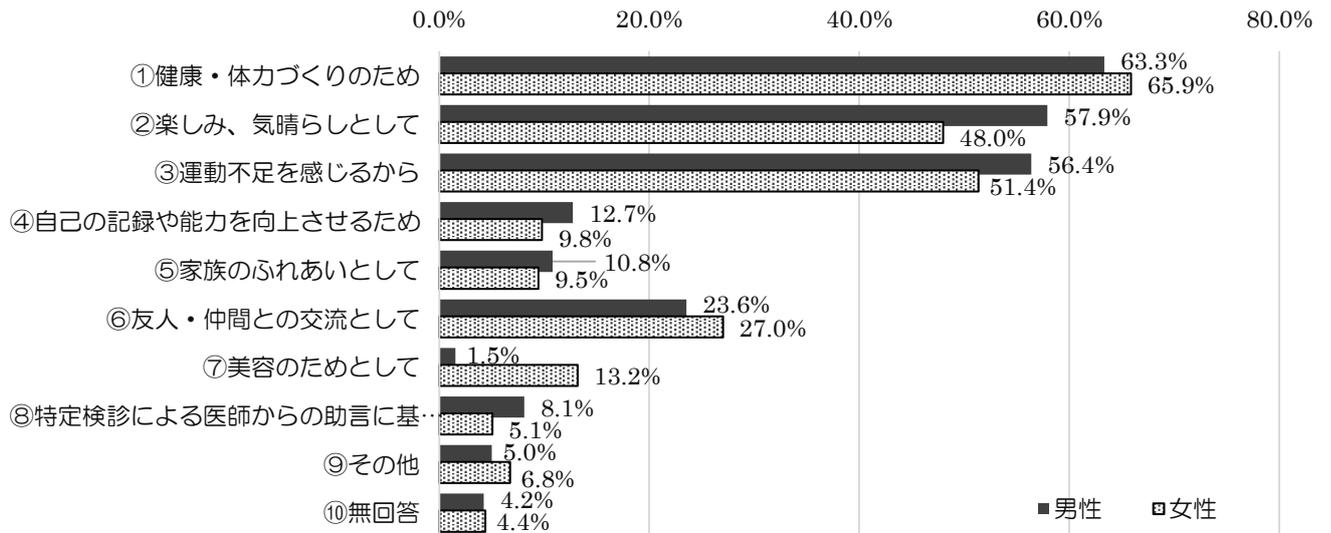
問4 全体の集計



【全体の集計結果】

本市では「①健康・体力づくりのため」、「③運動不足を感じるから」、「②楽しみ、気晴らしとして」の順に大きな割合を占めています。半数以上の回答者が「③運動不足を感じるから」を選択していることから、運動・スポーツの定着について継続的な取り組みが必要と考えられます。

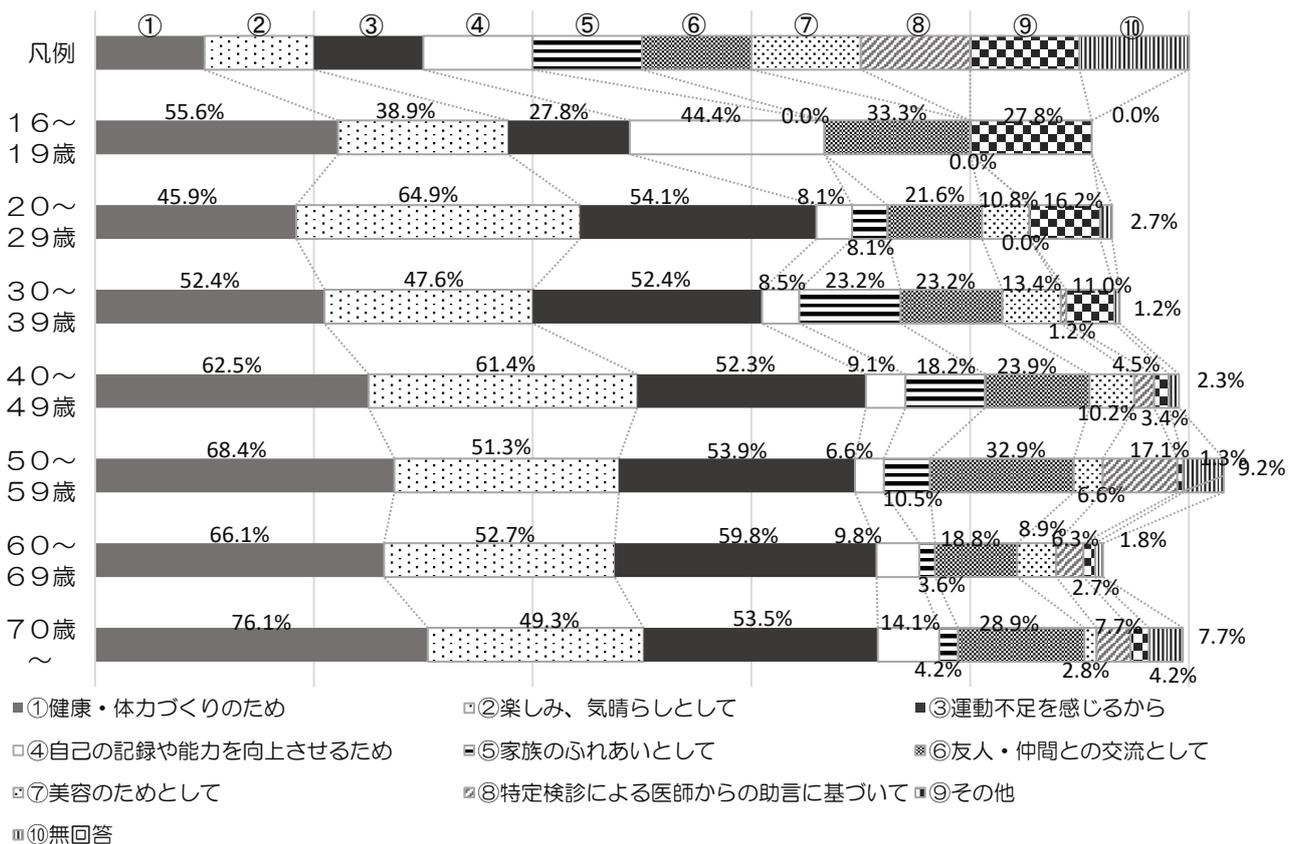
問4 性別の集計



【性別の集計結果】

回答の割合は、男女ともにほぼ近い分布をしています。 「⑦美容のためとして」については女性の方が男性よりも高い割合を示しています。

問4 年代別の集計



【年代別の集計結果】

「④自己の記録や能力を向上させるため」の回答割合は、16歳～19歳が一番高くなっていますが、70歳以上が14.1%と2番目に高い割合を示しており、意識の高さがうかがえます。また、「⑤家族のふれあいとして」は、30代、40代において高い割合を示しています。

問5 【問2で、①～⑥の回答をした方におたずねします】

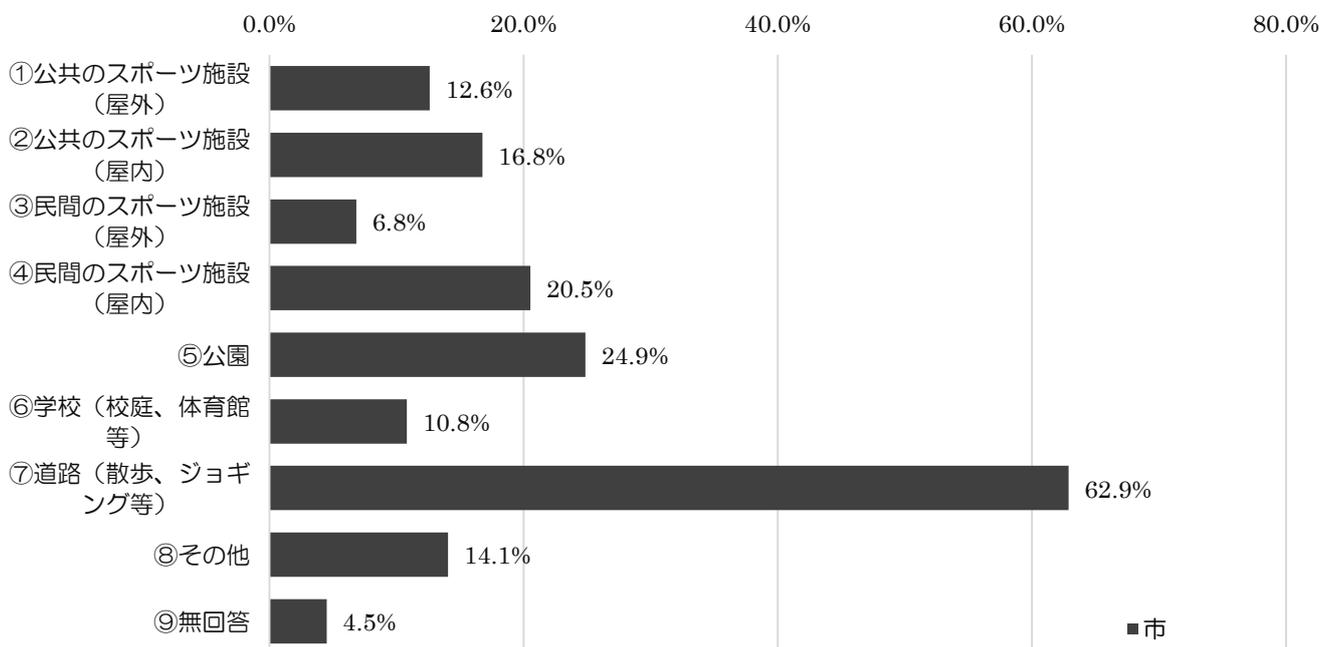
この1年間で、あなたが運動やスポーツをした主な場所はどこですか（回答は3つまで）

	本市	
	回答数	割合
①公共のスポーツ施設（屋外）	70	12.6%
②公共のスポーツ施設（屋内）	93	16.8%
③民間のスポーツ施設（屋外）	38	6.8%
④民間のスポーツ施設（屋内）	114	20.5%
⑤公園	138	24.9%
⑥学校（校庭、体育館等）	60	10.8%
⑦道路（散歩、ジョギング等）	349	62.9%
⑧その他	78	14.1%
⑨無回答	25	4.5%
合 計	965	

※本市における回答割合は、問2の質問に対して①から⑥（スポーツを行っている）と回答した555人に占める各選択肢の割合を示しています。

※県、国調査では、同様の設問がないため市調査の結果のみ記載しています。

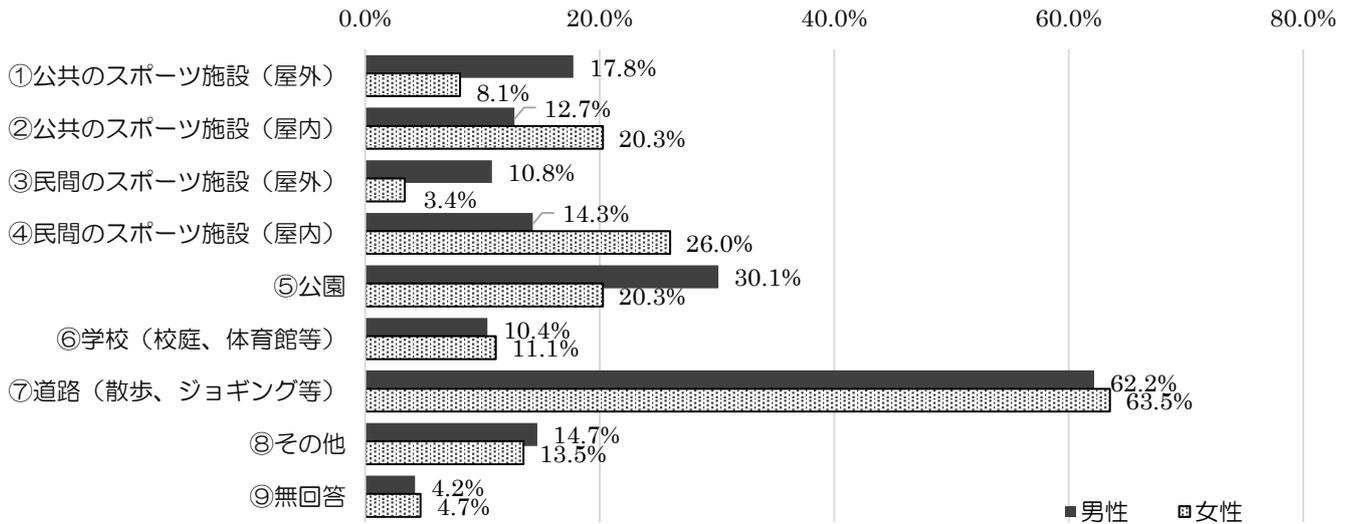
問5 全体の集計



【全体の集計結果】

公共のスポーツ施設（①と②の合計）は29.4%で、3割近い回答者が公共のスポーツを利用しています。また、「⑦道路（散歩、ジョギング等）」62.9%、次いで「⑤公園」24.9%とスポーツ施設以外の場所もスポーツに利用されていることがうかがえます。「⑧その他」の内容としては、自宅や買い物など日常的な活動を運動の場に行っているという回答が複数あります。登山やトレッキングを挙げる回答も数件あります。

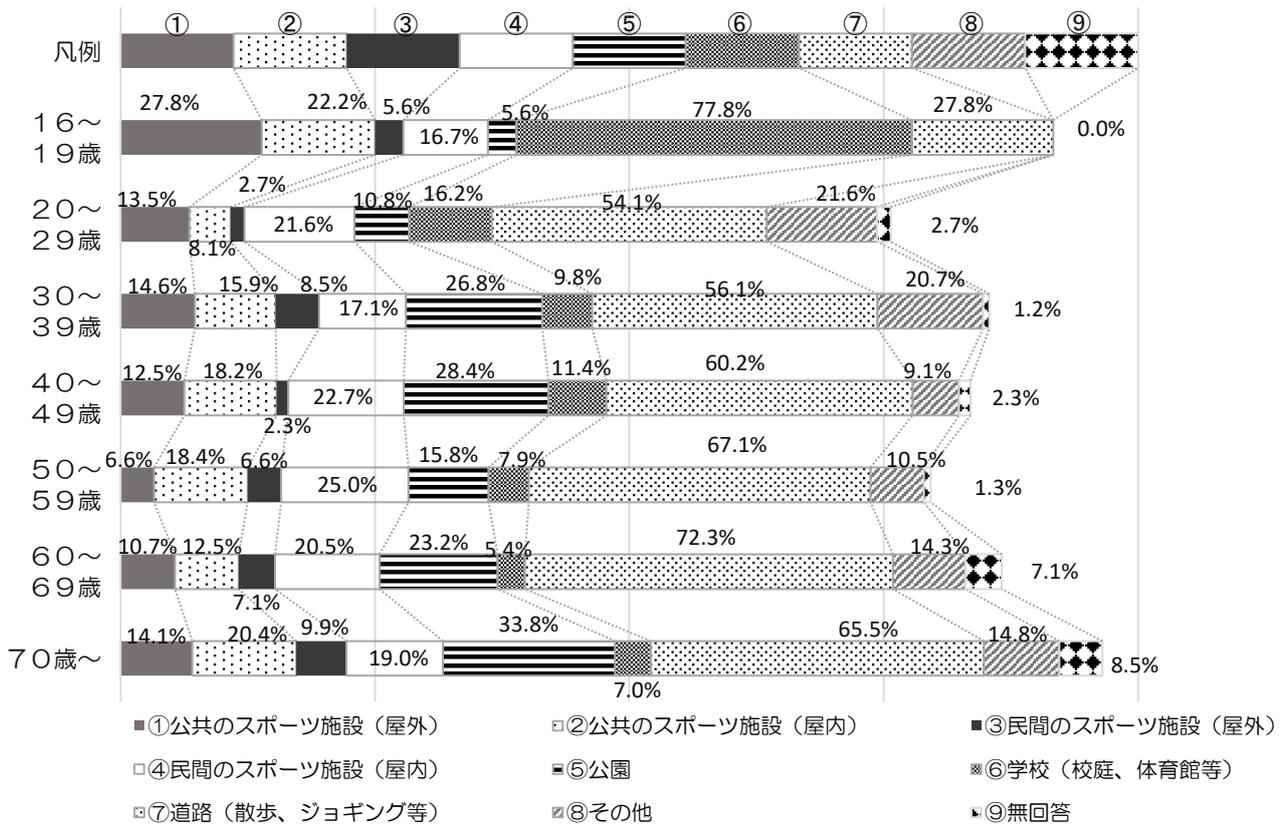
問5 性別の集計



【性別の集計結果】

「⑦道路（散歩、ジョギング等）」については、男女の間で大きな違いはありませんが、屋外スポーツ施設（①、③）の割合は公的民間問わず男性の方が多く、また、「⑤公園」の利用も男性が30.1%と女性よりも10%近く高いことから、男性の方が女性よりも屋外でスポーツを多く行っていることがうかがえます。

問5 年代別の集計



【年代別の集計結果】

「⑤公園」については、70歳以上、「⑦道路」での散歩やジョギングは60代が最も高い割合を示しています。

問6 公共のスポーツ施設に対して要望等がありますか（回答は3つまで）

	本市		県	国
	回答数	割合		
①施設数の増加	242	34.7%	23.6%	23.7%
②指導者の配置	58	8.3%	6.1%	6.3%
③初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実	167	24.0%	20.1%	14.9%
④利用手続き、料金支払い方法の簡略化	149	21.4%	13.7%	15.2%
⑤利用時間帯の拡大（早朝、夜間など）	137	19.7%	14.0%	15.8%
⑥利用案内など広報の充実	106	15.2%	14.4%	9.8%
⑦運動後も楽しめる施設（レストランなど）の充実	112	16.1%	5.4%	6.1%
⑧健康やスポーツに関する情報の充実	73	10.5%	8.0%	7.2%
⑨託児施設の充実	41	5.9%	3.2%	6.5%
⑩駐車場の整備	130	18.7%	11.4%	
⑪その他	39	5.6%	24.4%	12.5%
⑫特にない	133	19.1%		29.4%
⑬無回答	55	7.9%	32.1%	1.4%
合計	1,442			

※本市における回答割合は全回答者数（697人）に占める各選択肢の割合を示しています。

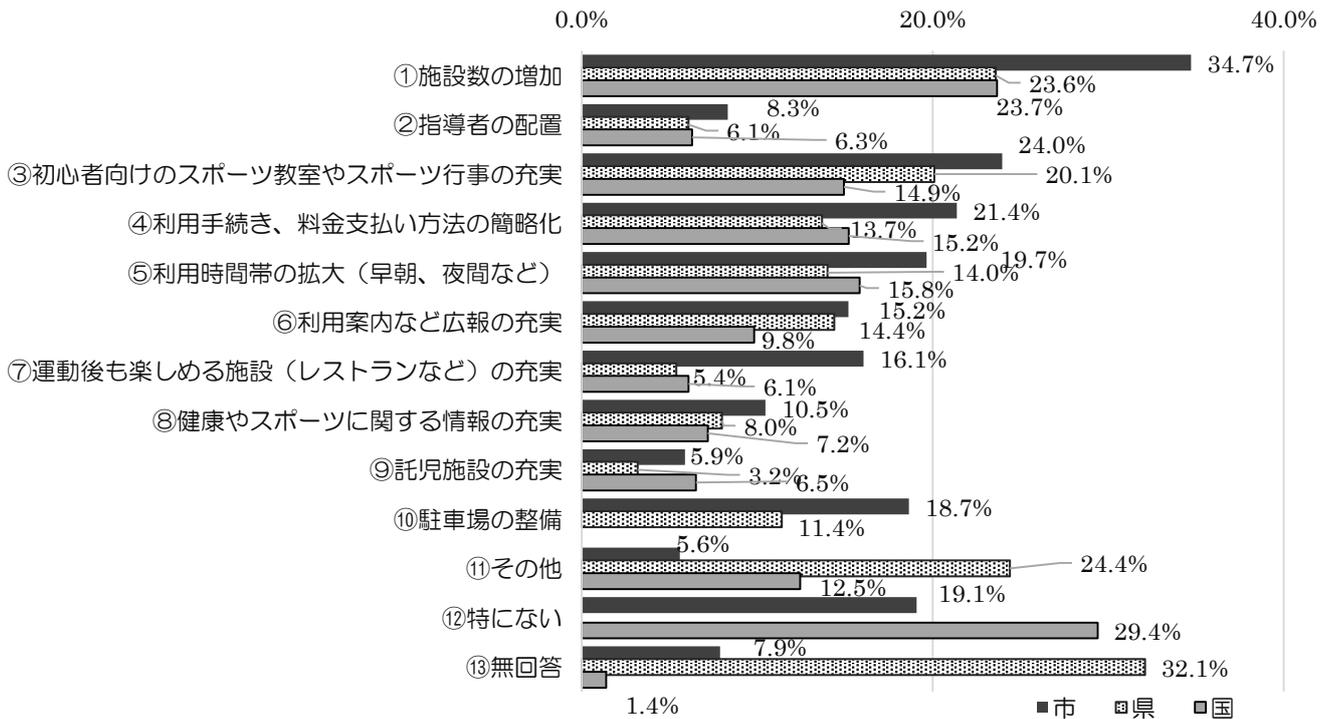
※国調査について：「望むことがある」の割合に各選択肢を選んだ割合を乗じています。

※⑪「その他」について：県調査、国調査における上記以外の選択肢を回答した割合はすべて「その他」に合算しています。

※⑬「無回答」について：県調査、国調査では「わからない」の選択肢が設定されており、県調査で32.1%、国調査で1.4%の回答者が「わからない」を選択しています。上記表ではそれらを⑬「無回答」に含めています。



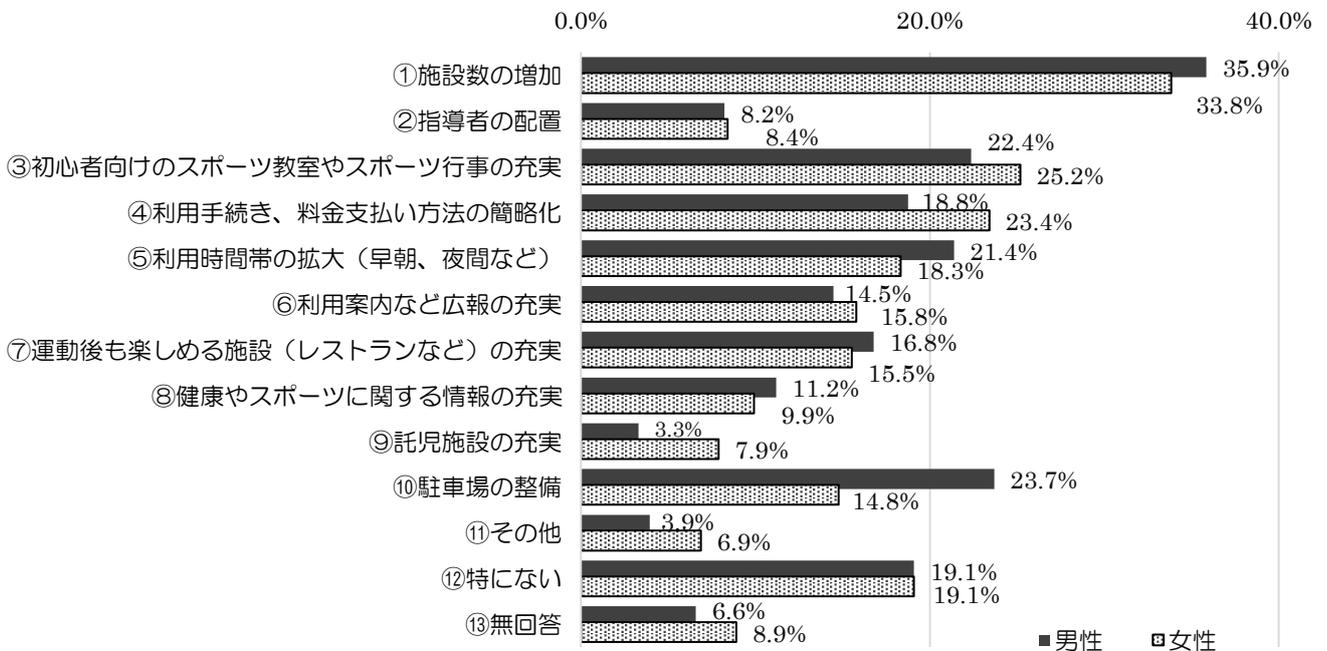
問6 全体の集計



【全体の集計結果】

「①施設数の増加」や「④利用手続きの簡略化」等、施設数や利便性を求める回答が高い割合を占めていますが、それ以外に「③初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事」が24.0%を占めており、初心者が行事を通してスポーツに親しめるような取り組みが必要と考えられます。

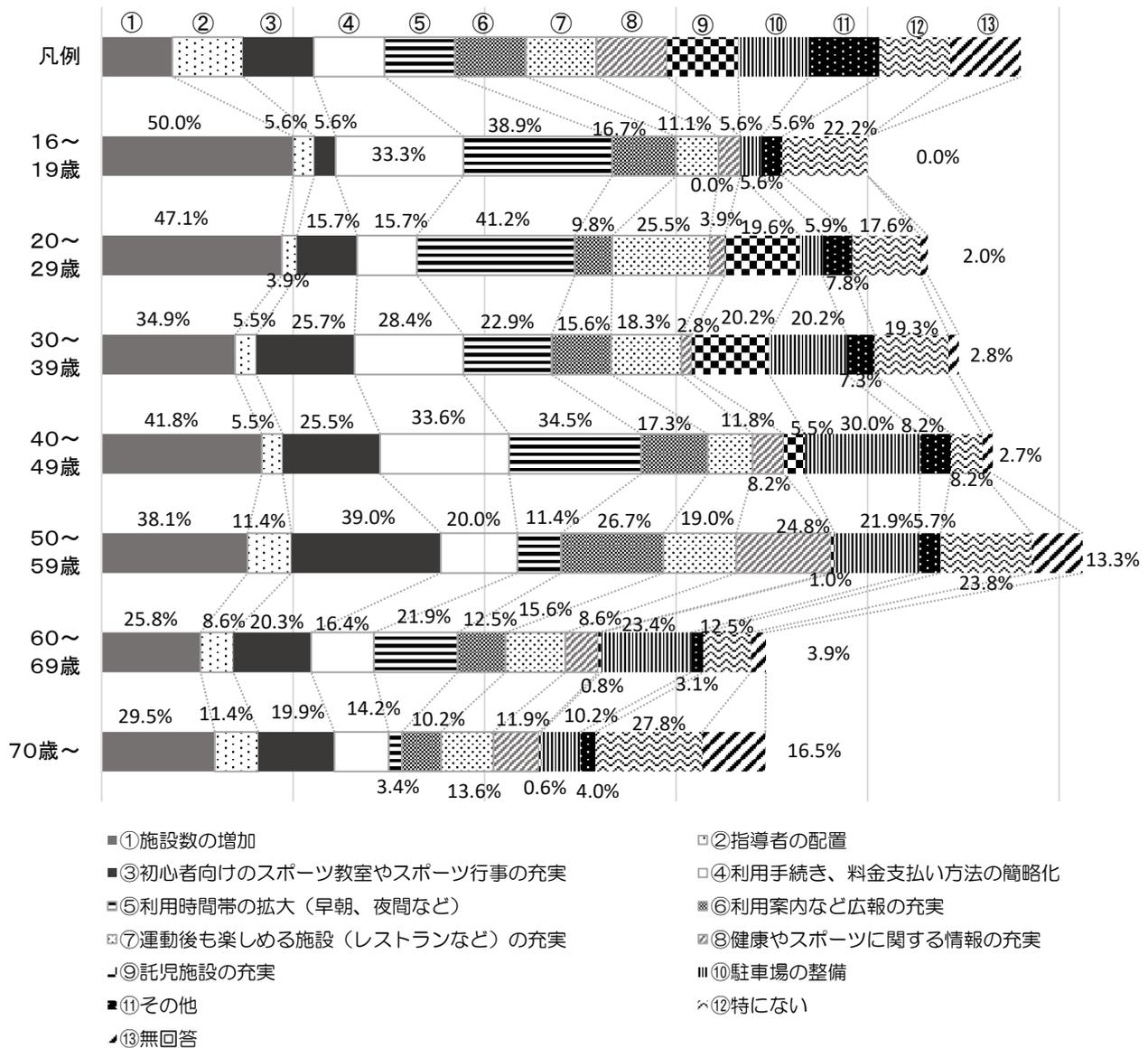
問6 性別の集計



【性別の集計結果】

「⑨託児施設の充実」について、女性の回答割合は7.9%と男性の倍以上、また「⑩駐車場の整備」について、男性が女性よりも9%ほど高くなっています。

問6 年代別の集計



【年代別の集計結果】

16歳～19歳、20代、40代の回答者の3割から4割が「⑤利用時間の拡大」を選択しています。



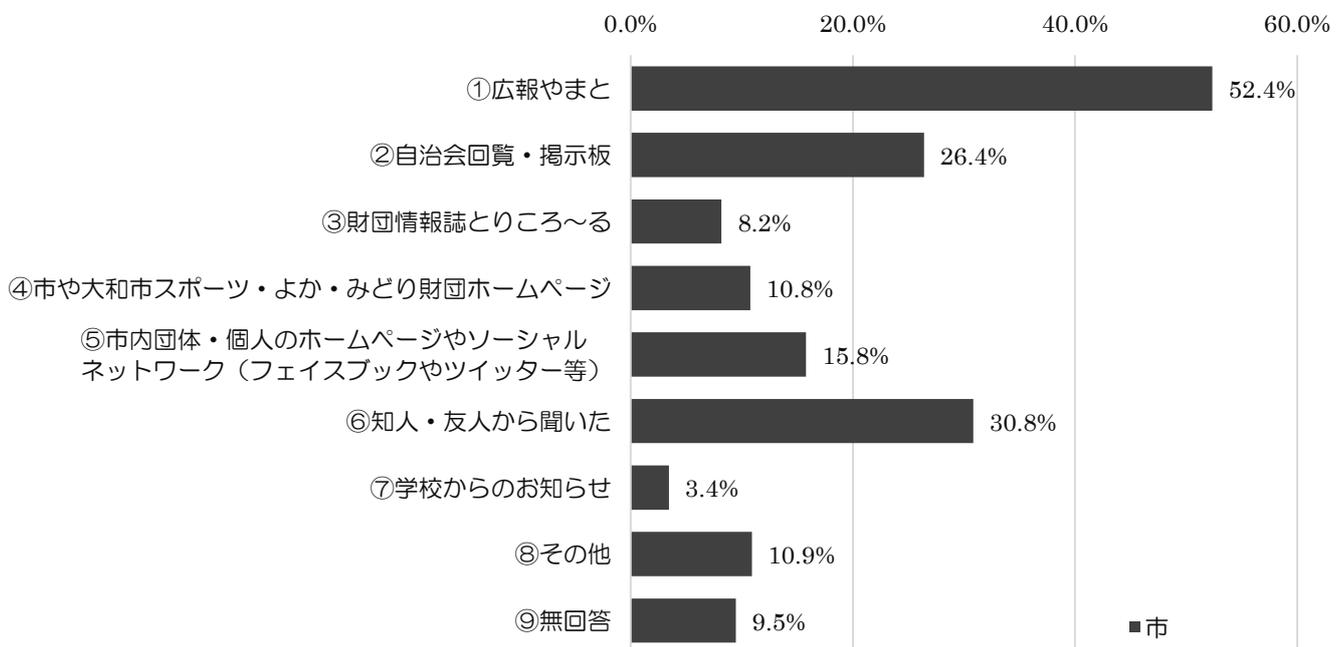
問7 あなたは運動やスポーツに関する情報をどのように得ていますか（回答は3つまで）

	本市	
	回答数	割合
①広報やまと	365	52.4%
②自治会回覧・掲示板	184	26.4%
③財団情報誌とりころ〜る	57	8.2%
④市や大和市スポーツ・よか・みどり財団ホームページ	75	10.8%
⑤市内団体・個人のホームページやソーシャルネットワーク （フェイスブックやツイッター等）	110	15.8%
⑥知人・友人から聞いた	215	30.8%
⑦学校からのお知らせ	24	3.4%
⑧その他	76	10.9%
⑨無回答	66	9.5%
合 計	1,172	

※本市における回答割合は、全回答者数（697人）に占める各選択肢の割合を示しています。

※県、国調査では同様の設問がないため、市調査の結果のみ記載しています。

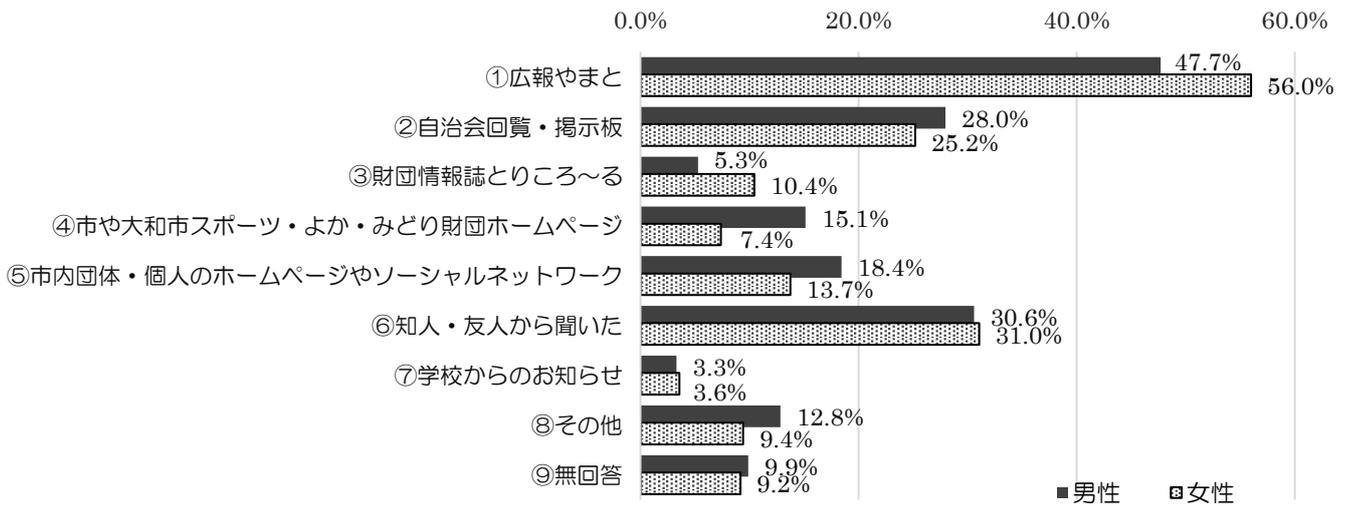
問7 全体の集計



【全体の集計結果】

「①広報やまと」が52.4%、「②自治会回覧・掲示板」26.4%と、地域の情報媒体が大きな役割を果たしており、今後もこれらを有効に活用することが重要と考えられます。また、「⑥知人・友人から聞いた」が30.8%となっており、人を介して情報を得ている場合も多いことがわかります。「⑧その他」の内容としては、テレビや新聞等で情報を得ているという回答があります。

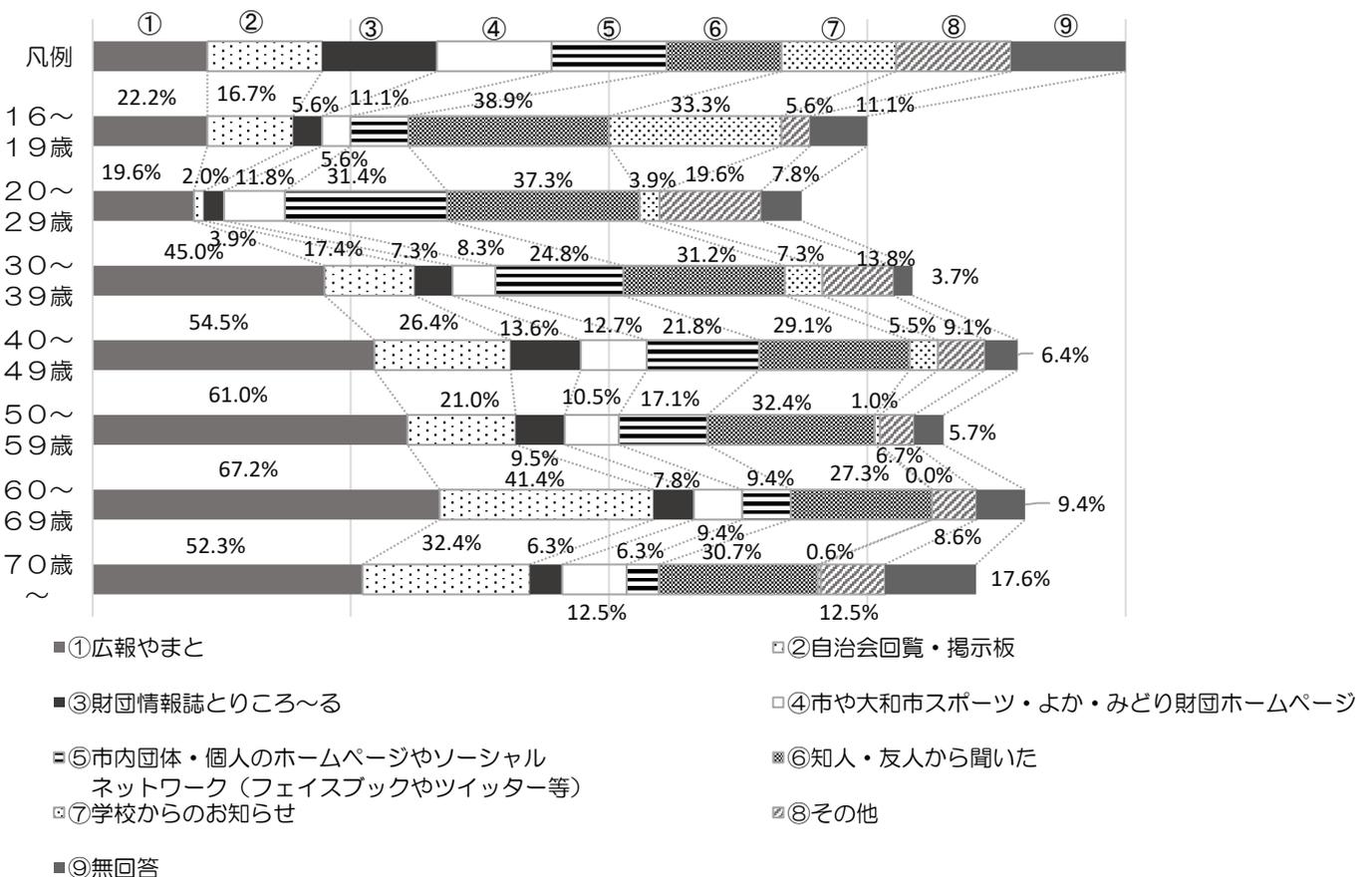
問7 性別の集計



【性別の集計結果】

「①広報やまと」、「③財団情報誌」については、女性の方が男性よりも高い割合を示している反面、「④市や財団ホームページ」や「⑤市内団体・個人のホームページやソーシャルネットワーク」については、男性の方が女性よりも高い割合となっています。

問7 年代別の集計



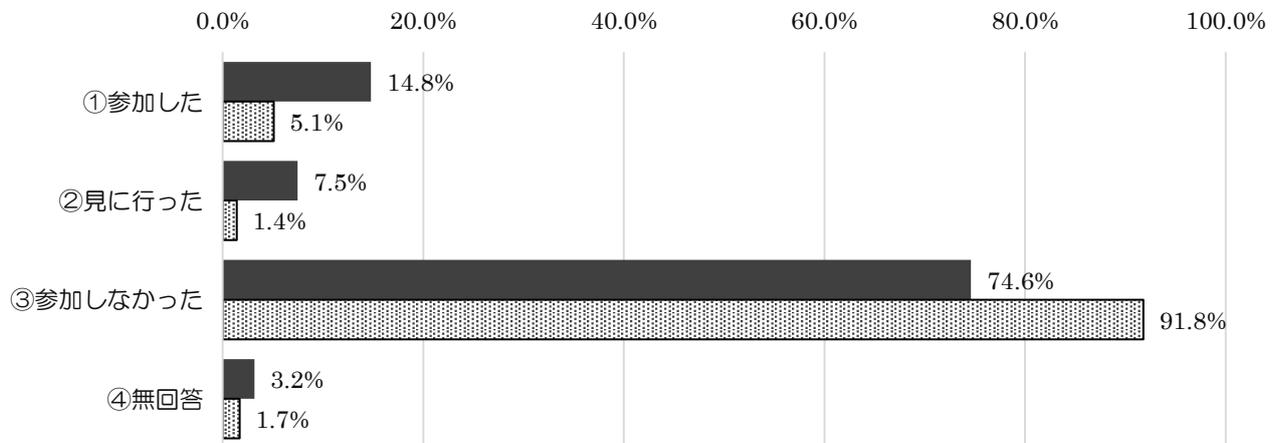
【年代別の集計結果】

「①広報やまと」は20代から60代の情報源とされており、年齢が高くなるほどその割合が高くなっています。また、「⑤市内団体・個人のホームページやソーシャルネットワーク」は20代などの若年層における割合が高いなど、その年代によって情報源の取得環境が異なることが見受けられます。

問8 この1年間で、あなたは県や市町村または地区などが催すスポーツ行事に参加しましたか
(回答は1つ)

	本市		県
	回答数	割合	
①参加した	103	14.8%	5.1%
②見に行った	52	7.5%	1.4%
③参加しなかった	520	74.6%	91.8%
④無回答	22	3.2%	1.7%
合 計	697		

問8 全体の集計

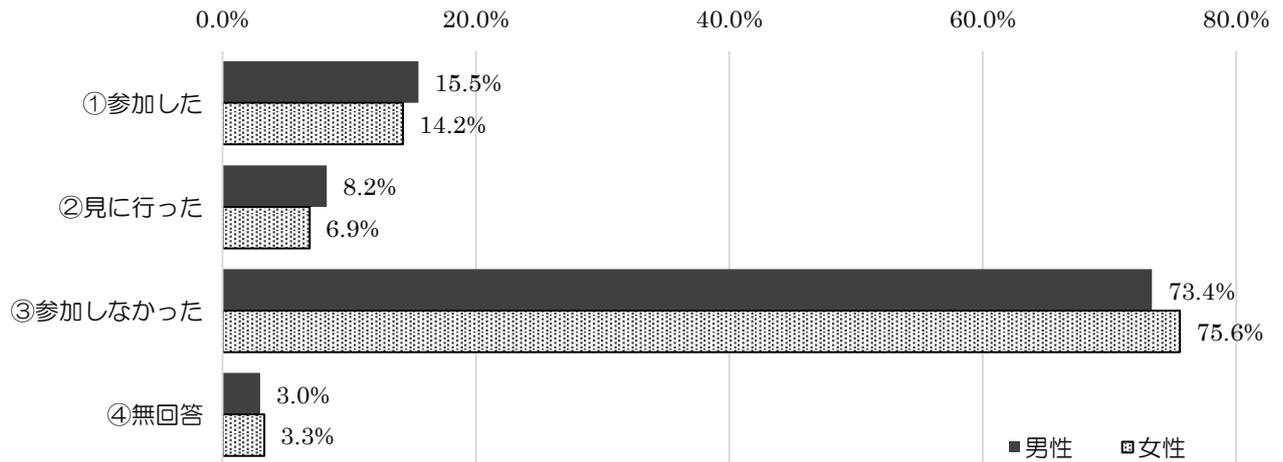


【全体の集計結果】

本市において、7割以上の回答者が「③参加しなかった」を選択しています。問3においてスポーツをしなかった理由として「①仕事(家事・育児を含む)が忙しくて時間がないから」が62.1%を占めていること。また、問6で公共のスポーツ施設に望むこととして「③初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事」を選択した割合が24.0%となっていることから、働く世代や日頃スポーツをしない人が参加しやすい日時の設定や、行事の実施が求められていると考えられます。



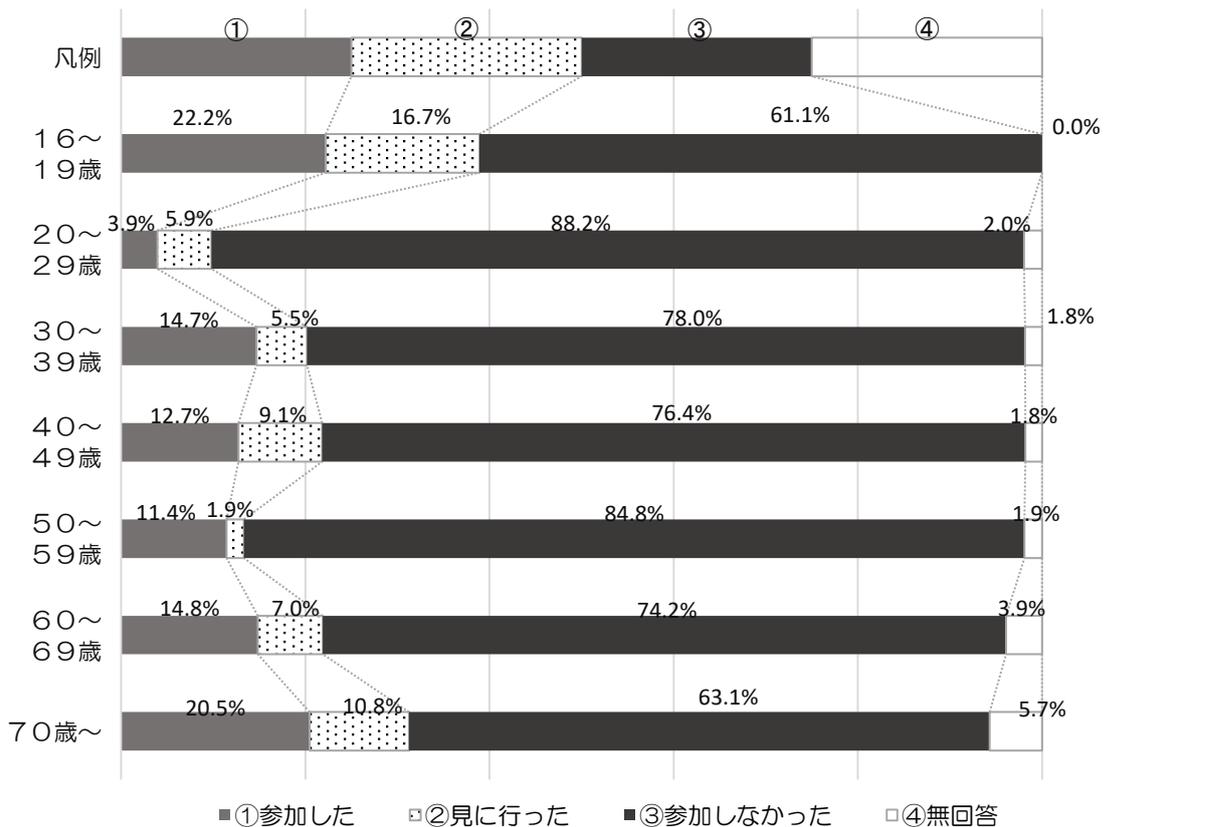
問8 性別の集計



【性別の集計結果】

「①参加した」、「②見に行った」ともに男性における割合が女性の割合を若干ながら上回っております。

問8 年代別の集計



【年代別の集計結果】

16歳~19歳、70歳以上において、「①参加した」と「②見に行った」の割合が高くなっている反面、20代と50代は「③参加しなかった」割合が8割を超えており他の世代よりも高くなっています。

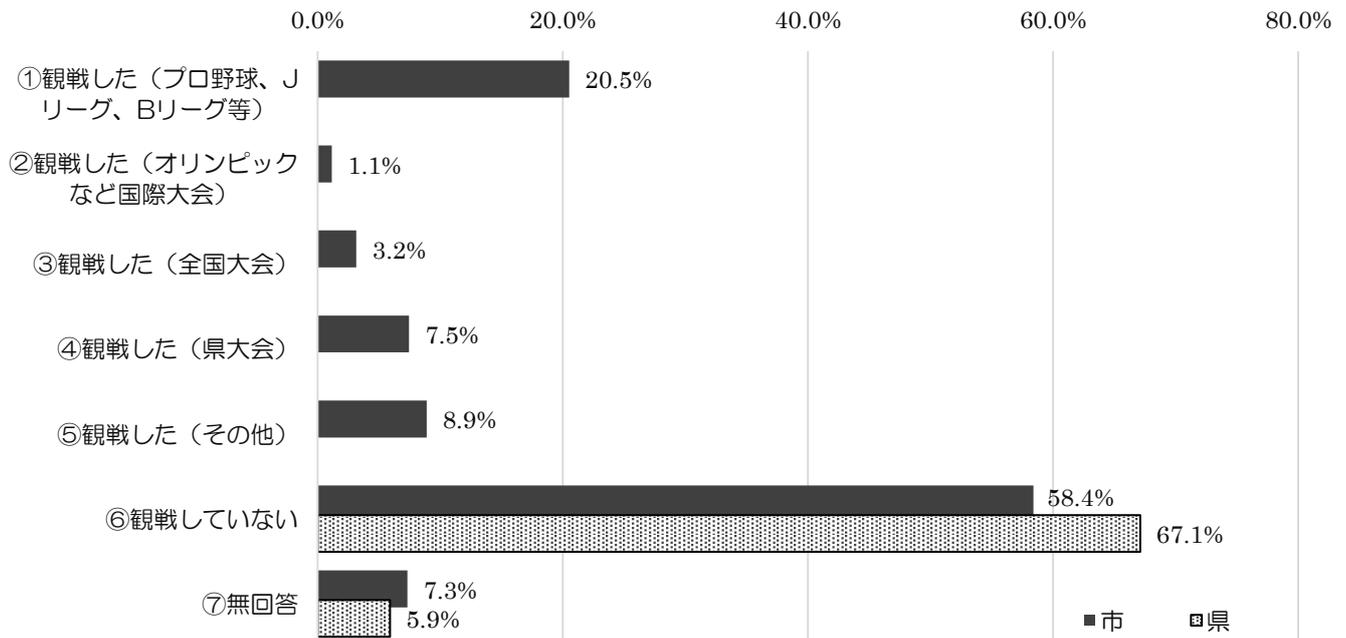
問9 この1年間で、あなたは直接会場でのスポーツ観戦をしましたか（回答はいくつでも）

	本市			県
	回答数	観戦有無	観戦内容	
①観戦した（プロ野球、Jリーグ、Bリーグ等）	143	34.3%	20.5%	27.0%
②観戦した（オリンピックなど国際大会）	8		1.1%	
③観戦した（全国大会）	22		3.2%	
④観戦した（県大会）	52		7.5%	
⑤観戦した（その他）	62		8.9%	
⑥観戦していない	407	58.4%		67.1%
⑦無回答	51	7.3%		5.9%
合 計	745			

※本市における回答割合は、全回答者数（697人）に占める各選択肢の割合を示しています。

※県調査については、スポーツ観戦経験の有無を問う設問や観戦したいスポーツを問う設問はありますが、観戦した内容を問う設問はありませんでした。また、国調査では同様の設問がありませんでした。

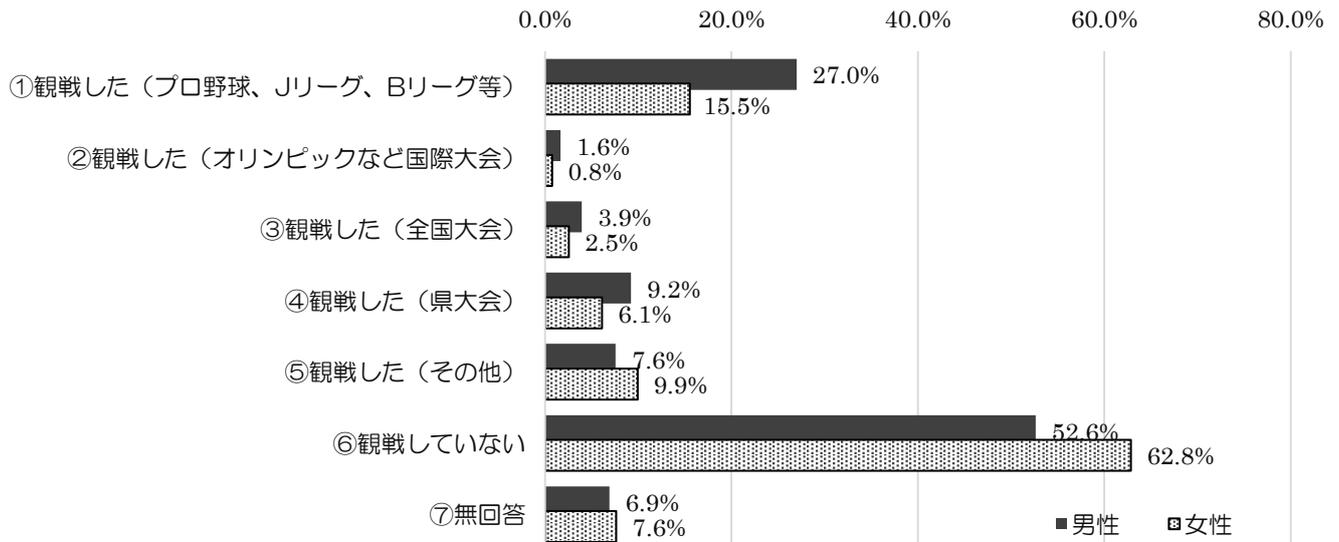
問9 全体の集計



【全体の集計結果】

「⑥観戦していない」が58.4%、「⑦無回答」が7.3%を占めていることから、この1年間で直接会場でのスポーツ観戦をした回答者は全体の34.3%になります。また、「①観戦した（プロ野球、Jリーグ、Bリーグ等）」は20%を超えており、回答者の5人に一人が会場でプロ野球、Jリーグ、Bリーグ等を観戦しています。「⑤観戦した（その他）」（記入式）の内容としては、ゴルフ、テニス、水泳、駅伝などの種目が挙げられています。

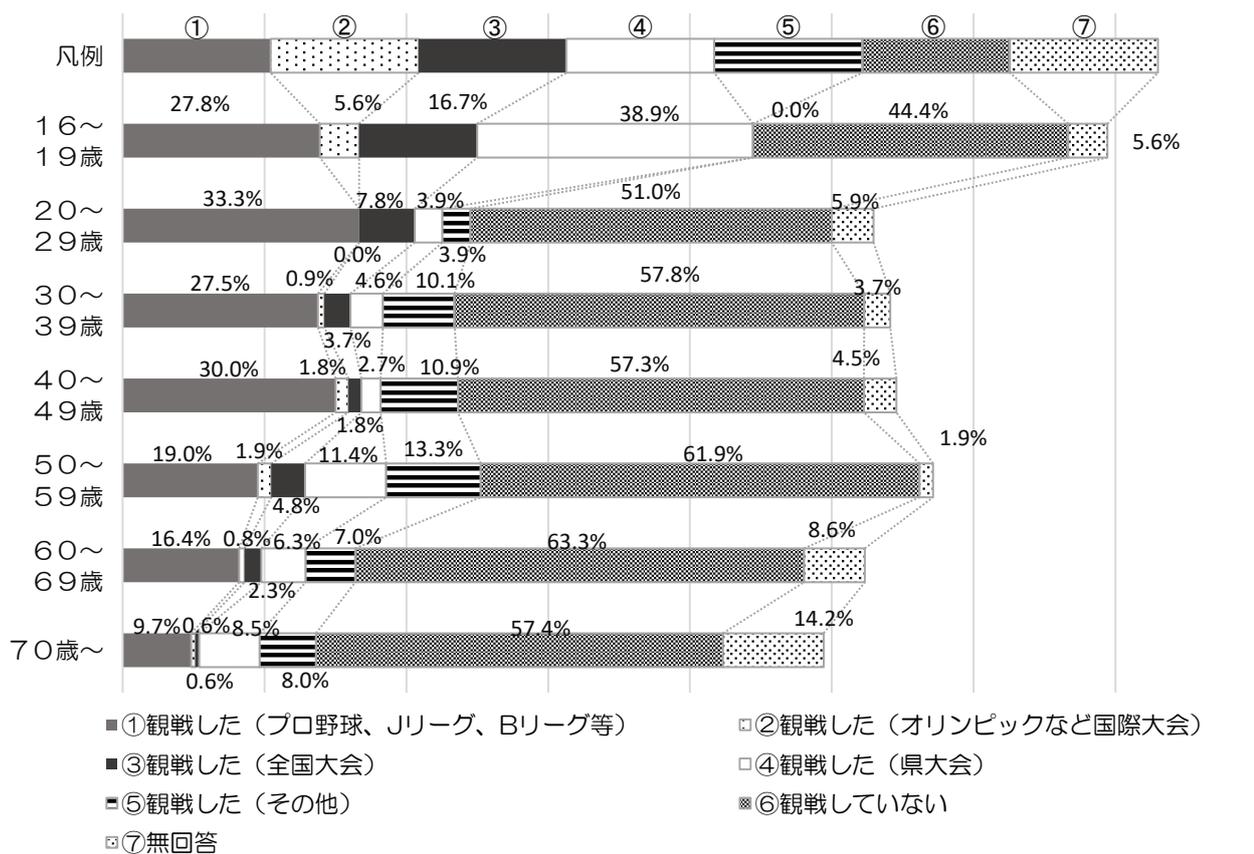
問9 性別の集計



【性別の集計結果】

「⑥観戦していない」については、男性が女性よりも10%低く、男性の方が会場でスポーツ観戦をする傾向がうかがえます。

問9 年代別の集計



【年代別の集計結果】

「①観戦した(プロ野球、Jリーグ、Bリーグ等)」については、33.3%と20代が最も高い割合を示しています。「⑥観戦していない」割合は20代から50%を超えています。

問10 あなたはスポーツに関するボランティア活動の経験がありますか（回答はいくつでも）

	本市		県	国
	回答数	割合		
①経験あり（スポーツの指導）	50	7.2%	1.5%	
②経験あり（地域のスポーツクラブの役員など、定期的なスポーツ活動の運営）	33	4.7%	1.7%	3.8%
③経験あり（スポーツ大会など不定期なスポーツイベントでのボランティア）	47	6.7%	2.1%	7.6%
④経験あり（その他）	21	3.0%	0.4%	
⑤経験なし（今後行ってみたい）	98	14.1%	19.8%	88.5%
⑥経験なし（今後も行うつもりはない）	436	62.6%	67.3%	
⑦無回答	45	6.5%	6.4%	0.1%
合 計	730			

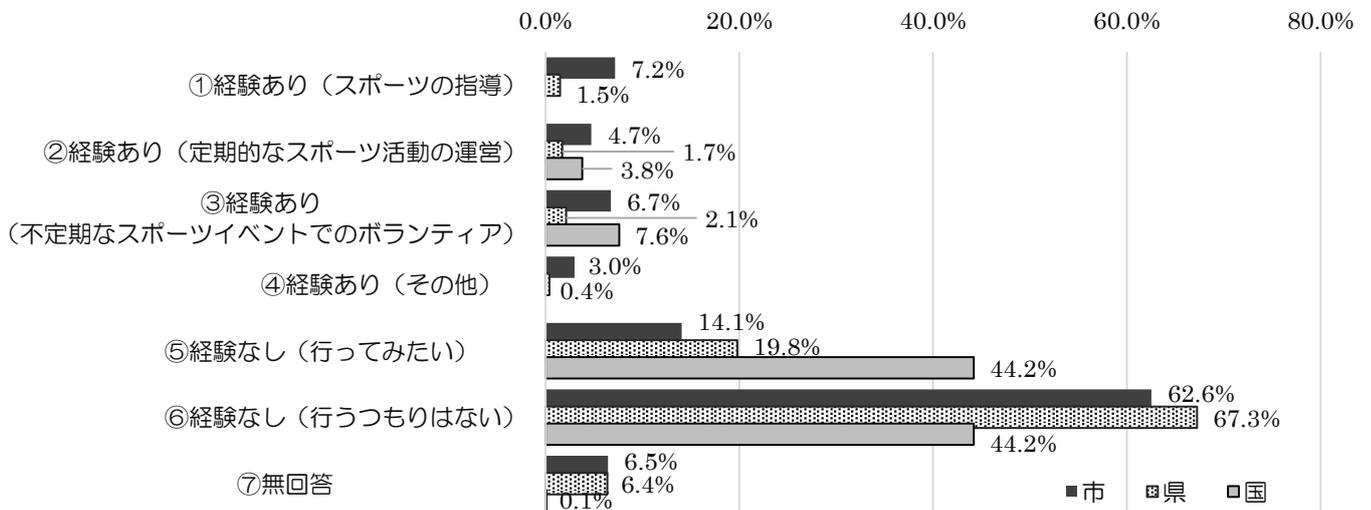
※本市における回答割合は、全回答者数（697人）に占める各選択肢の割合を示しています。

※県、国調査では、過去1年間のスポーツボランティア活動の有無を質問しています。

※県調査については、県調査問14(1)で過去1年間にスポーツボランティア活動を経験したと回答した割合に、内容ごとの回答割合（県調査問14(2)）や今後のボランティア活動参加意向（県調査問14(3)）を乗じた数値を記載しています。

※国調査では、過去1年間のスポーツボランティア活動の有無を質問していますが、今後の参加意向は調査していません。

問10 全体の集計

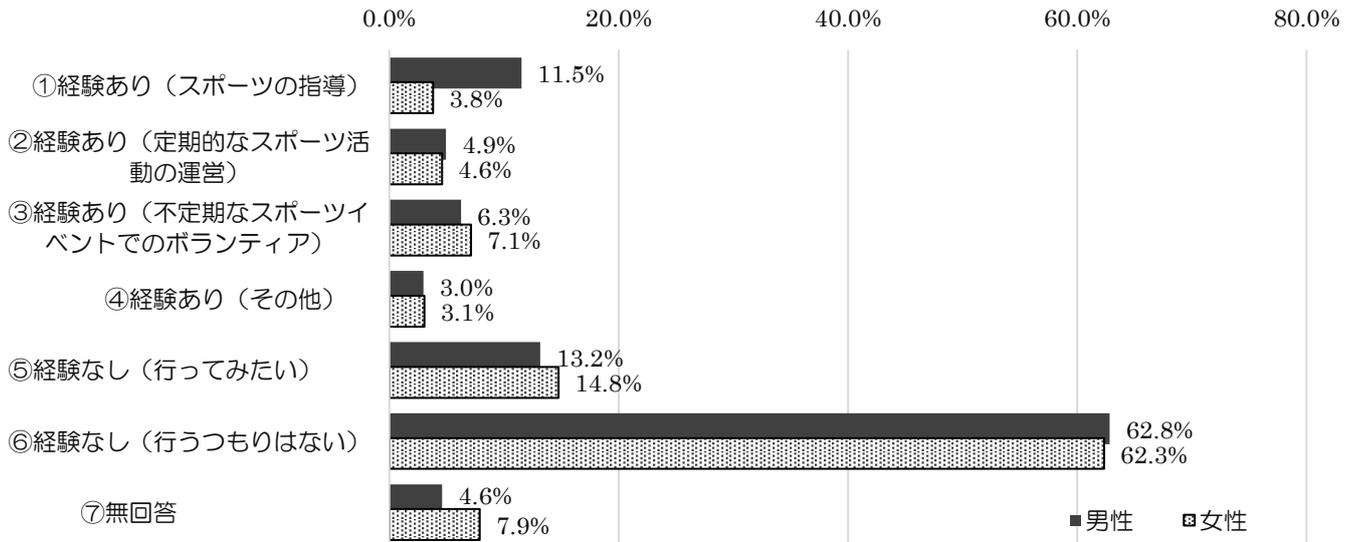


※選択肢⑤、⑥の国数値について：上記グラフでは、「経験なし」と回答した88.5%を按分してそれぞれ44.2%で作成しています。

【全体の集計結果】

「経験なし」（⑤及び⑥）、「⑦無回答」を選択した回答者は、全体の83.2%を占め、経験がある回答者は全体の16.8%となります。「④経験あり（その他）」（記入式）の内容には、イベント運営や指導経験が複数含まれ、「⑤経験なし（今後行ってみたい）」（記入式）には、オリンピック・パラリンピックで何らかのボランティアをしたいという回答が見られます。「⑥経験なし（今後も行うつもりはない）」が全回答者の62.6%を占めており、スポーツボランティアについての啓発等が今後の課題といえます。

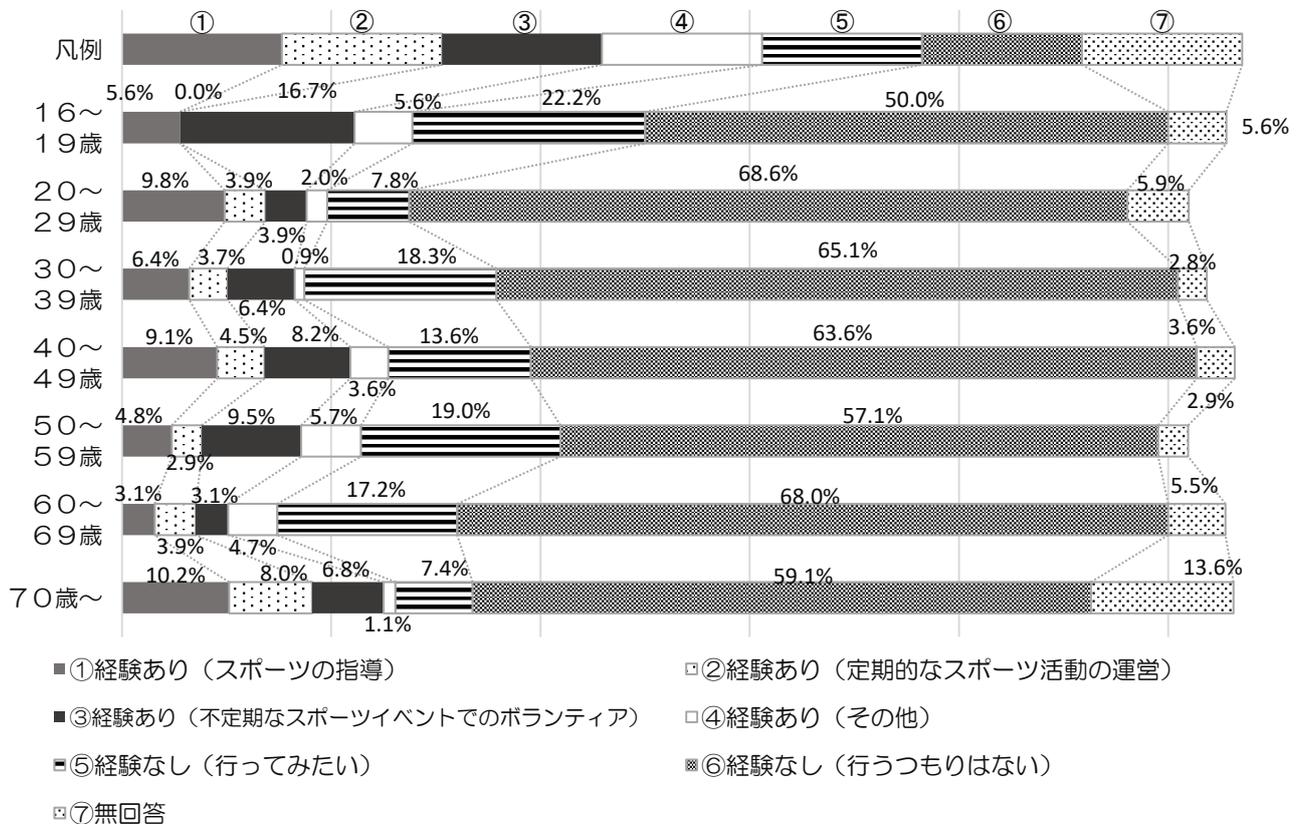
問10 性別の集計



【性別の集計結果】

「経験なし」（⑤及び⑥）の割合に男女間で大きな差はありません。「経験あり」の回答の内容については、「②定期的なスポーツ活動の運営」と「③不定期なスポーツイベントでのボランティア」に男女間で大きな違いはありませんが、「①スポーツの指導」においては、男性の方が11.5%と女性よりも8%近く高い結果となっています。

問10 年代別の集計



【年代別の集計結果】

①～③のボランティア経験がある回答割合は、70代が他の世代に比べて高くなっています。

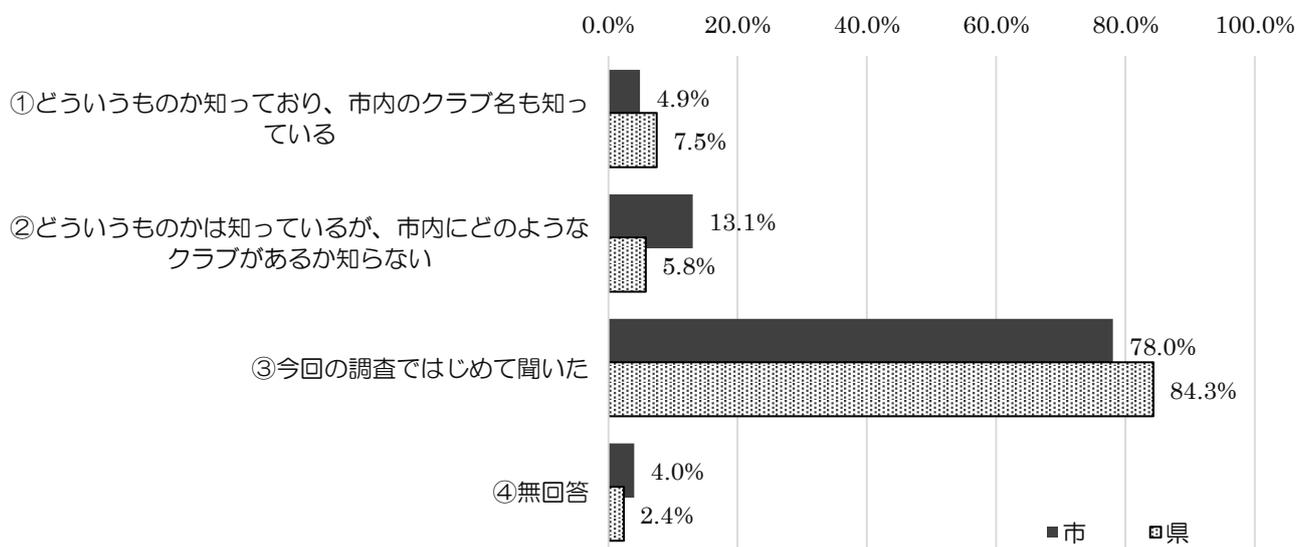
問11 あなたは地域住民が主体となって運営する多目的・多世代・多志向型のスポーツクラブである「総合型地域スポーツクラブ」について知っていますか（回答は1つ）

	本市		県
	回答数	割合	
① どのようなものか知っており、市内のクラブ名も知っている	34	4.9%	7.5%
② どのようなものかは知っているが、市内にどのようなクラブがあるか知らない	91	13.1%	5.8%
③ 今回の調査ではじめて聞いた	544	78.0%	84.3%
④ 無回答	28	4.0%	2.4%
合計	697		

※県調査は「1.仕組みや特徴も含め、よく知っている」、「2.県内や地域に総合型地域スポーツクラブがあることは知っている」、「3.総合型地域スポーツクラブという言葉聞いたことがある」、「4.知らない」の4肢択一となっています。上記表においては、「1」と「2」の合計を①欄に、「3」の割合を②欄に、「4」の割合を③欄に記載しました。

※国調査では、同様の設問がありませんでしたので、市、県調査の結果のみ記載しています。

問11 全体の集計



【全体の集計結果】

本市の調査結果では「① どのようなものか知っており、市内のクラブ名も知っている」は4.9%にとどまり、「③ 今回の調査ではじめて聞いた」は78.0%となっていることから、総合型地域スポーツクラブについての周知が、まだ充分とは言えない状況であるといえます。

問12 あなたは総合型地域スポーツクラブに加入したいですか？（回答は1つ）

	本市	
	回答数	比率
①加入したい	31	4.4%
②興味がある	349	50.1%
③興味はない	285	40.9%
④無回答	32	4.6%
合 計	697	

※県、国調査結果には、市の調査結果と比較できる統計がなかったため、市調査結果のみ記載しています。

問12 全体の集計

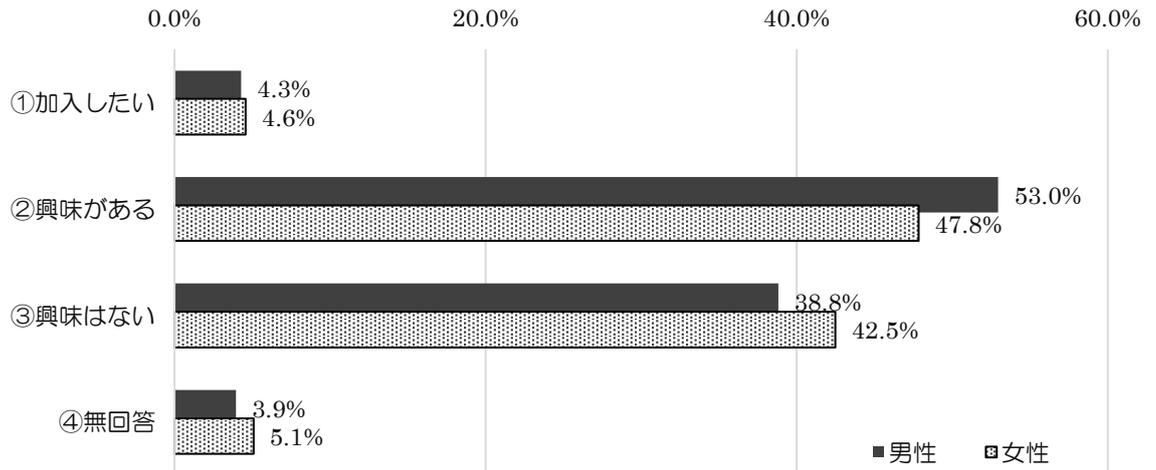


【全体の集計結果】

「①加入したい」は、4.4%と低いものの、「②興味がある」が50%を超えていることから、回答者の間に総合型地域スポーツクラブに対する関心があることがうかがえます。また、内容がよくわからないという回答が複数あることなど、今後も、クラブについて広く周知することが必要と考えられます。



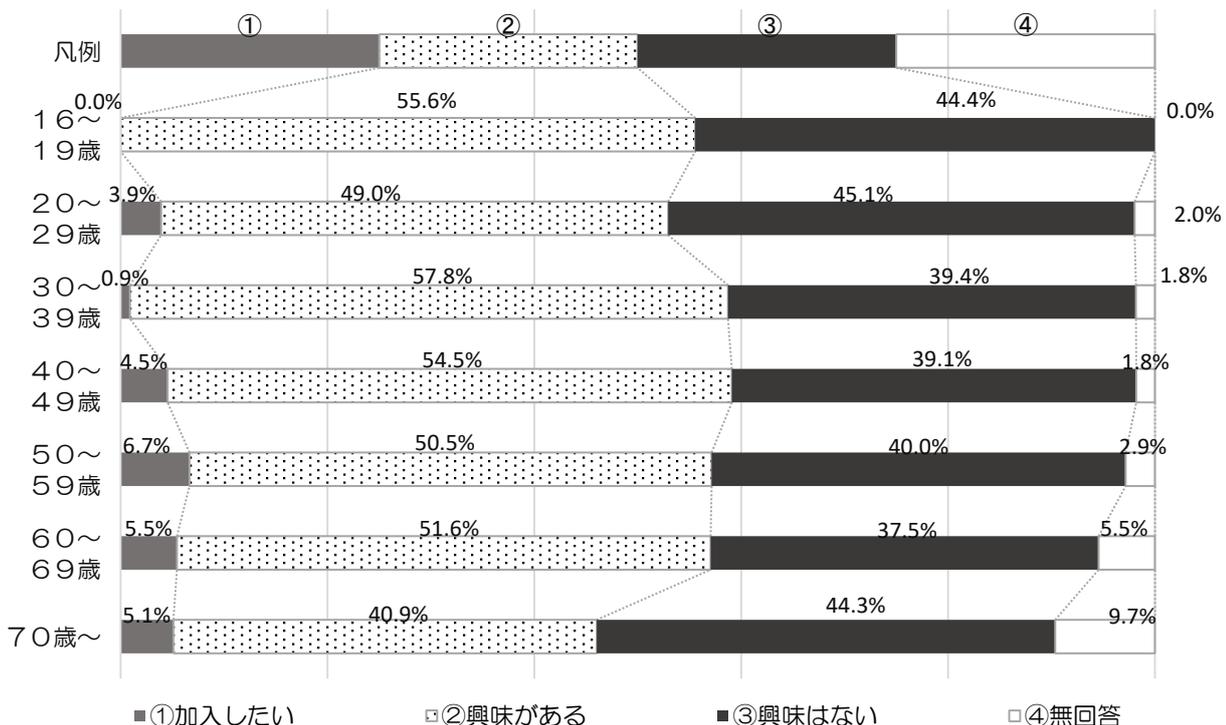
問12 性別の集計



【性別の集計結果】

「①加入したい」に大きな男女間の差はないものの、男性の方が「②興味がある」の割合が高く、「③興味はない」が低いことから、比較的男性の方が総合型地域スポーツクラブに関心を持っていることがうかがえます。

問12 年代別の集計



【年代別の集計結果】

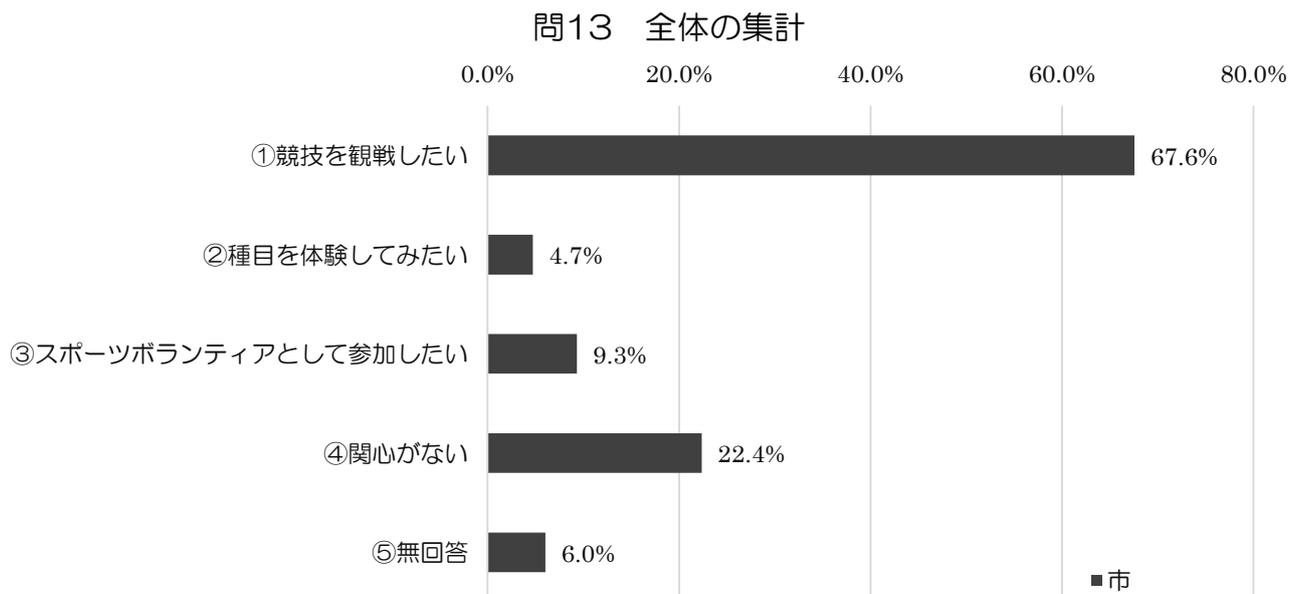
積極的に「①加入したい」と回答した割合は、40代以降の年代で高い傾向があります。また、30代においては「①加入したい」の割合は低いものの、「②興味がある」は57.8%と他世代よりも高い割合を示しており、潜在的な関心があることがうかがえます。

問13 2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピックにどのような関心があるか教えてください。（回答はいくつでも）

	本市	
	回答数	比率
①競技を観戦したい	471	67.6%
②種目を体験してみたい	33	4.7%
③スポーツボランティアとして参加したい	65	9.3%
④関心がない	156	22.4%
⑤無回答	42	6.0%
合 計	767	

※本市における回答割合は、全回答者数（697人）に占める各選択肢の割合を示しています。

※県、国調査では、同様の設問がありませんでしたので、市調査の結果のみ記載しています。

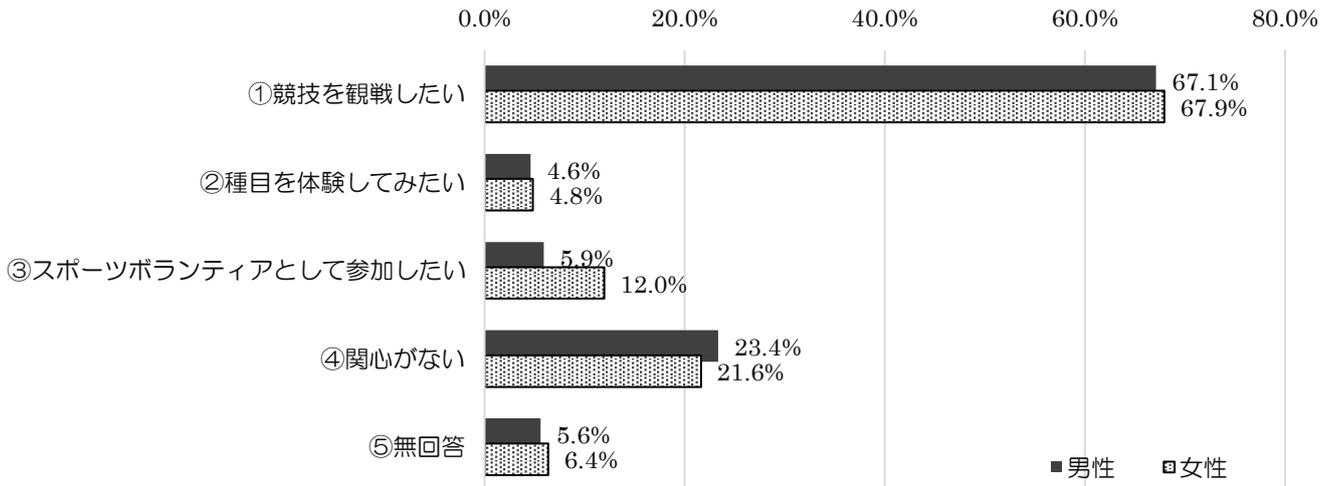


【全体の集計結果】

「④関心がない」と「⑤無回答」を除く、回答者全体の81.6%がオリンピック・パラリンピックに何らかの関心を持っています。中でも「①競技を観戦したい」の割合は最も高い割合を示しています。

「①競技を観戦したい」種目（記入式）としては、サッカーや野球、バレーボール等が複数挙げられています。一方、「④関心がない」の理由（記入式）としては、多忙さが理由とする回答が多くを占めています。

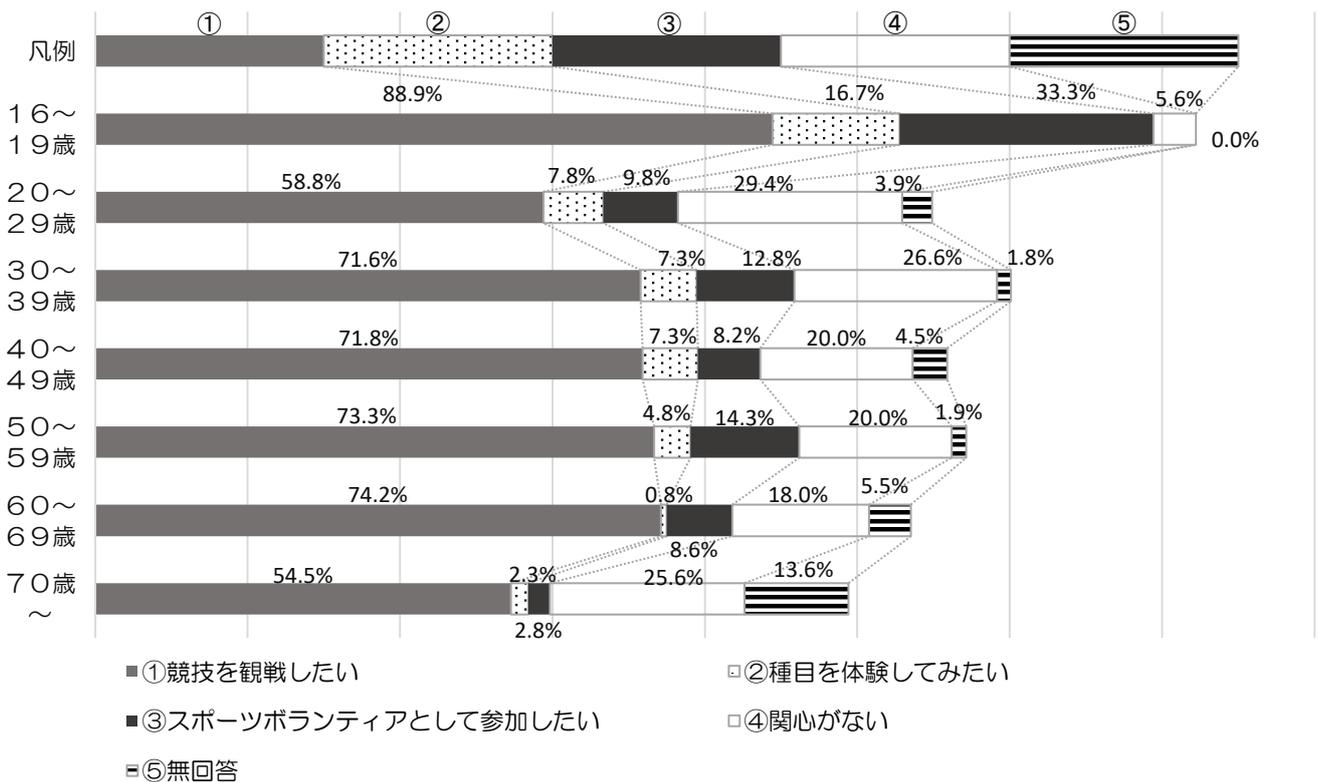
問13 性別の集計



【性別の集計結果】

女性については「③スポーツボランティアとして参加したい」と回答した割合が 12.0%と男性の倍以上高く、女性の方がスポーツボランティアへの関心が高いことがうかがえます。

問13 年代別の集計



【年代別の集計結果】

16～19 歳の回答は、①から③まで高い割合を示しており、他世代よりも幅広い内容について、オリンピック・パラリンピックへの関心が高いことがうかがえます。

問14 大和市のスポーツ振興・推進を更に図るために、必要と思われることは何ですか
(回答は3つまで)

	本市		県	国
	回答数	割合		
①各種スポーツ行事・大会・教室の開催	128	18.4%	12.8%	32.6%
②地域のクラブやサークルの育成	103	14.8%	10.4%	26.8%
③スポーツ指導者の養成	69	9.9%	7.8%	32.2%
④スポーツに関する広報活動	120	17.2%	12.1%	19.0%
⑤学校体育施設の開放・整備	105	15.1%	11.3%	32.7%
⑥野外スポーツ活動施設の整備	73	10.5%	18.8%	21.6%
⑦野外を除く各種スポーツ施設の整備	58	8.3%		11.9%
⑧スポーツボランティアの支援	21	3.0%	3.9%	16.7%
⑨年齢にあったスポーツの普及	217	31.1%	17.7%	30.7%
⑩公共施設で健康・体力の相談ができる体制の整備	81	11.6%	6.2%	17.5%
⑪ジョギングやウォーキングなどができる道路の整備	228	32.7%	16.4%	
⑫手軽にスポーツができる公園の整備	208	29.8%	29.1%	
⑬多種目・多世代・多志向型の総合型地域スポーツクラブの育成	80	11.5%	7.5%	
⑭観戦スポーツの誘致	102	14.6%		
⑮その他	30	4.3%	64.9%	84.4%
⑯特に無い	57	8.2%	7.3%	3.7%
⑰無回答	23	3.3%	8.8%	4.1%
合 計	1,703			

* 「県」欄：神奈川県立体育センター「平成27年度県民の体力・スポーツに関する調査結果報告書」 P.118「県の取組への要望」から。

* 「国」欄：文部科学省「体力・スポーツに関する世論調査」（平成25年1月調査）「Ⅱ調査結果の概要」 P.112「スポーツ振興について国や地方自治体への要望」（複数回答）。上記表では「力を入れてもらいたいものがある」と回答した割合に各選択肢を選んだ割合を乗じています。

※本市における割合は全回答者数（697人）に占める各選択肢の回答割合を示しています。

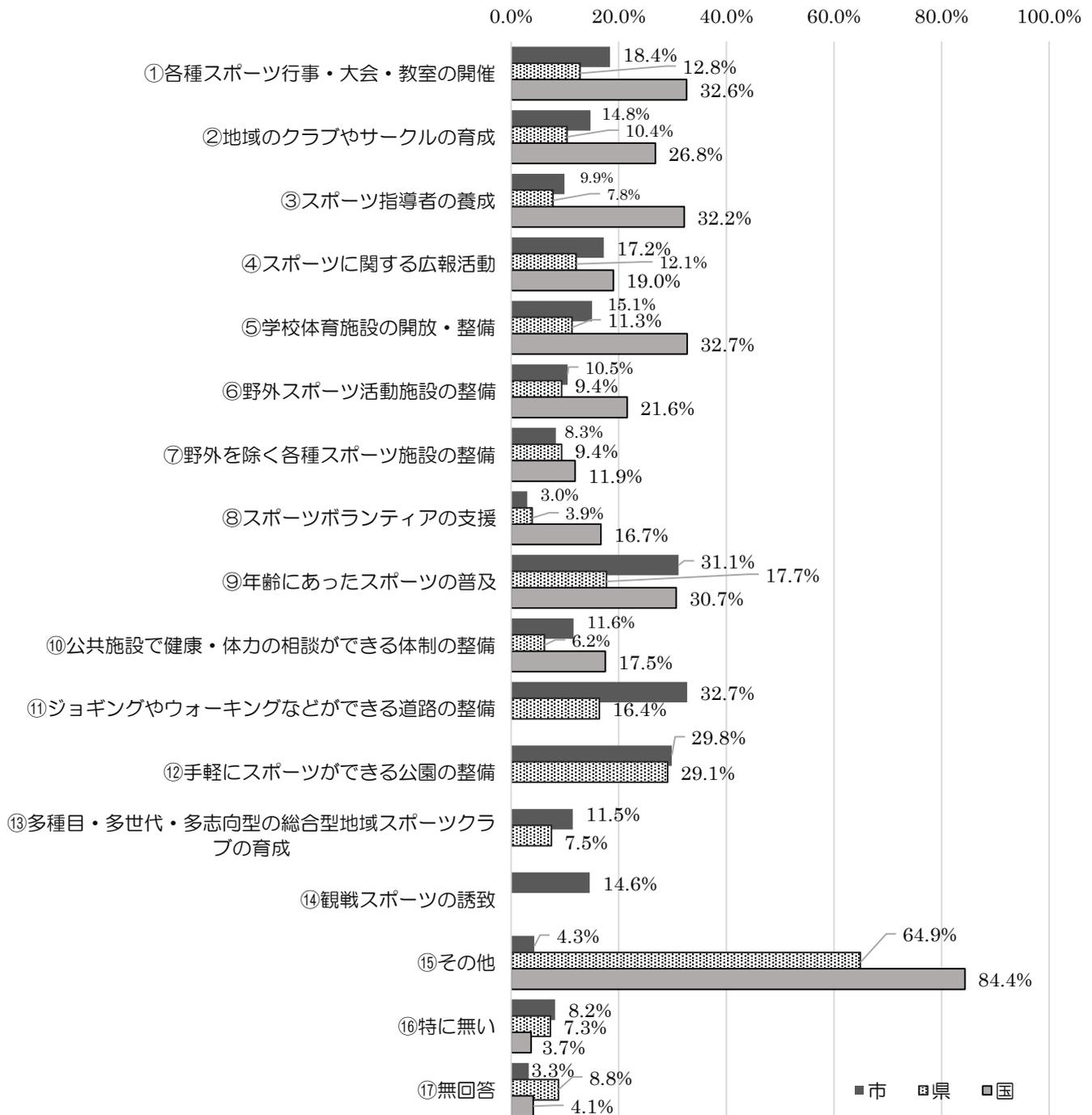
※⑥、⑦「スポーツ施設の整備」について：県調査では施設の整備について、野外野内を問わず「各種スポーツ施設の整備」として選択肢を設けています。

※⑮その他について：県、国調査において市調査で設定していない項目（「スポーツに係る事故の防止」、「トップアスリートの育成」など）は、すべて「その他」に含めています。

※⑰「無回答」について：県調査、国調査では「わからない」の選択肢が設定されており、それらの割合を表⑬「無回答」に記載しています。

※本市調査の選択肢の内、県、国調査で設定されていないものについては、空欄にしてあります。

問14 全体の集計

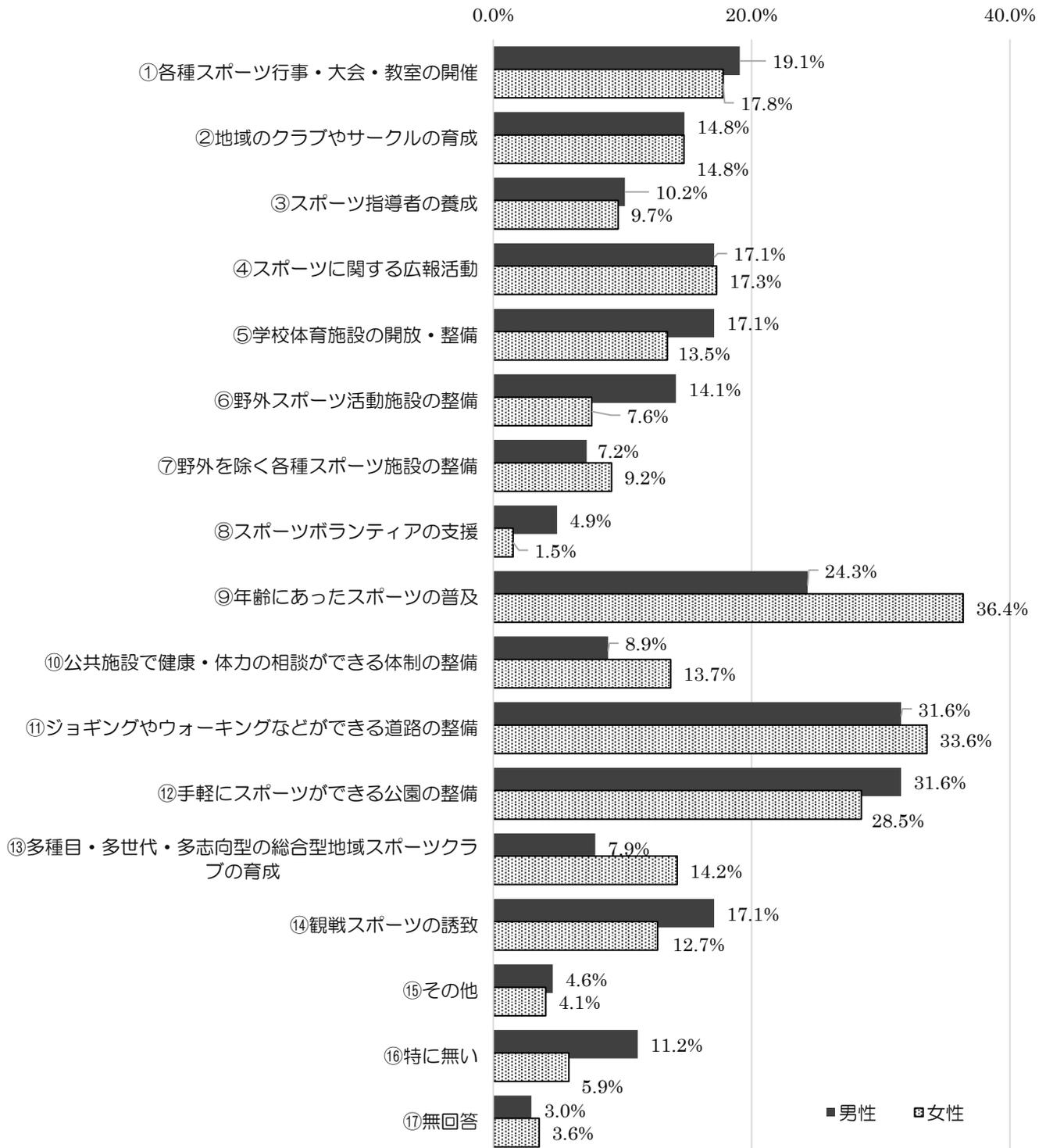


※選択肢⑥、⑦の県数値について：上記グラフでは、「各種スポーツ施設の整備」と回答した18.8%を按分し、それぞれ9.4%で作成しています。

【全体の集計結果】

「⑨年齢にあったスポーツの普及」（31.1%）、「⑪ジョギングやウォーキングなどができる道路の整備」（32.7%）や「⑫手軽にスポーツができる公園の整備」（29.8%）は、他の選択肢よりも高く、年齢や生活にあわせて手軽にスポーツができる環境が求められていると考えられます。

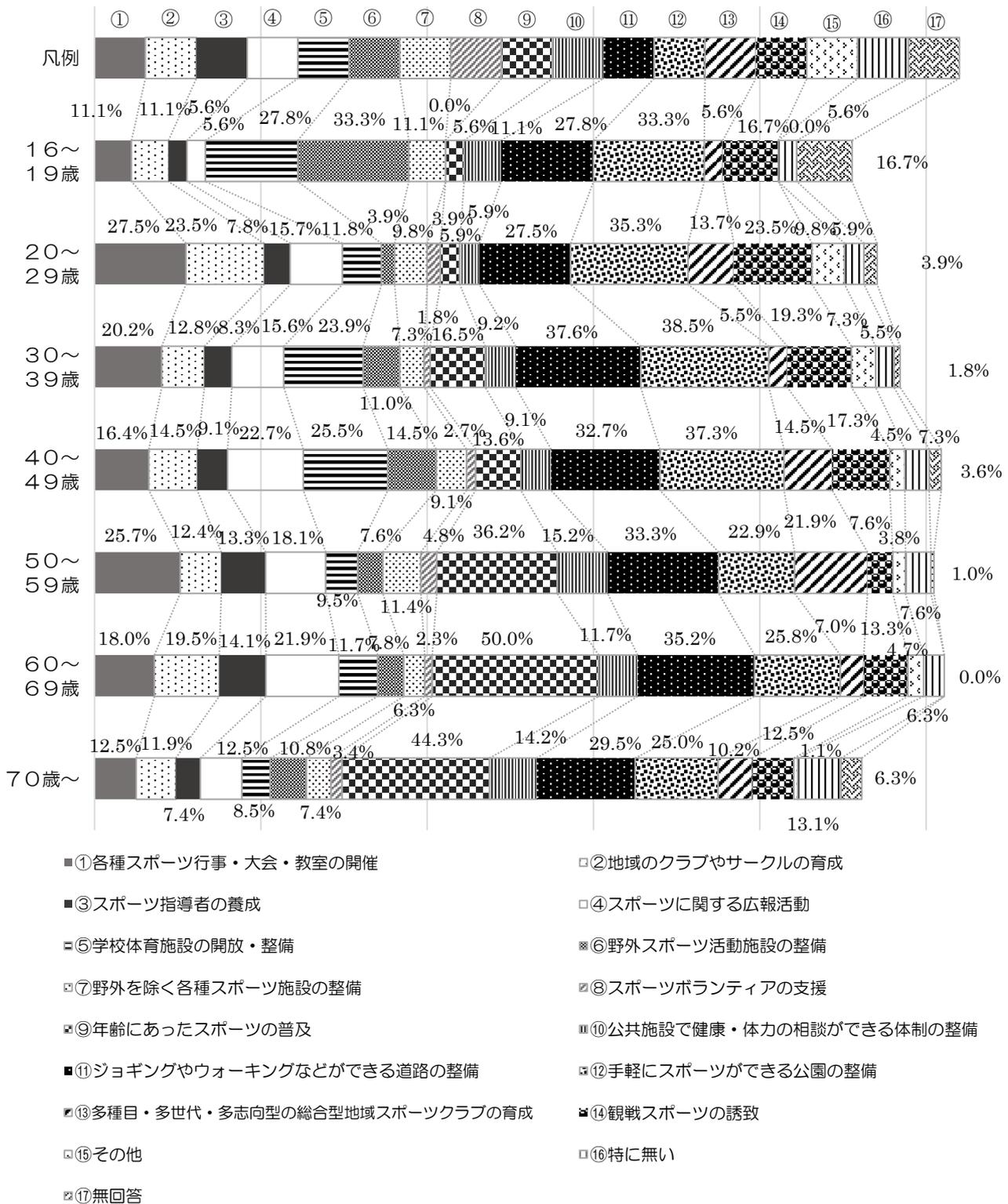
問14 性別の集計



【性別の集計結果】

男性の方が「⑥野外スポーツ活動施設の整備」を望む割合が高く、また、女性の方が「⑨年齢にあったスポーツの普及」と「⑩公共施設で健康・体力の相談ができる体制の整備」、「⑬多様目・多世代・多志向型の総合型地域スポーツクラブの育成」について、高い割合を示しています。

問14 年代別の集計



【年代別の集計結果】

「⑪ジョギングやウォーキングができる道路」の回答の割合は、30代から60代にかけて、「⑫手軽にスポーツができる公園」の割合は、10代から40代にかけてが高く、年代によって整備を望む環境に違いがあることがうかがえます。

第2期大和市スポーツ推進計画（案）に対する市民意見公募の結果

市民意見公募の結果は、次のとおりです。

1. 募集期間
平成30年12月15日（土）から平成31年1月15日（火） 32日間
2. 募集方法
郵送、直接持参、ファックス送信
3. 実施広報
広報やまと12月15日号及び市ホームページに実施内容の掲載
4. 「第2期大和市スポーツ推進計画（案）」の閲覧場所
スポーツ課（大和スポーツセンター内）、市役所情報公開コーナー、保健福祉センター、各分室・連絡所、各学習センター、各コミュニティセンターのほか、市ホームページ
5. 意見の提出状況
提出なし

